I-O DATA

管理マニュアル

アプライアンスサーバー
APX2-ESS/RO5A

すぐ取り出せる場所に保管してください

MANU001226
MANU001226

もくじ

注意事項など
本製品を使う上で、お守りいただきたいご注意です。必ずお読みください。

使う前に
- 安全のために ... 3
- 使用上のご注意 ... 5
- 添付品を確認する ... 8
- 動作環境 ... 9
- 各部の名称・機能 ... 10

初期設定
本製品の設置・導入方法を説明しています。

導入する
- ステップ 1　設置する ... 12
- ステップ2　NarSuS に登録する ... 19
- ステップ3　本製品の初期設定 ... 24
- 管理ソフト「ZWS Manager」 ... 29
- RAID 設定 ... 30
- 困った時には ... 31

ファイルサーバーの利用
本製品のファイルサーバー機能に関する設定方法を説明しています。

共有の作成と管理
- 共有を作成する ... 32
- ユーザー数制限 ... 37
- アクセス許可 ... 38

バックアップと回復
- USB HDD を暗号化する ... 39
- バックアップと復元（Windows 7） ... 42

ディスクとボリュームの活用
- フォーマット ... 47
- シャドウコピー設定 ... 48

その他

ファイルを探す
- 全文検索機能 ... 52

ウイルススキャン
- Windows セキュリティ ... 53

故障時の対応

故障時の対応
- 故障と思ったら… ... 54
- システムリカバリーする ... 55

資料

資料
- 出荷時設定 ... 61
- ZWS Manager のログ、メール一覧 ... 62
- アフターサービス ... 65
- ハードウェア保証規定 ... 68

使う前に

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼警告および注意表示

⚠警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
⚠注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼絵記号の意味

- 禁止
- 指示を守る

⚠警告

本製品を修理・改造・分解しない

発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない

感電の原因になります。

故障や異常のまま、つながない

本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。
そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

AC アダプターや本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない

水や洗剤などが AC アダプターや本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。
- お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
- 水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かないでください。
- 万一、AC アダプターや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。

本製品の小さな部品を乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込み、窒息や胃などのへ障害の原因になります。
万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない

発火の原因になります。

本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ず本製品の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてからおこなう

電源コードを抜かずにおこなうと、感電の原因になります。

決められた電源で使用する

所定以外の電源で、本製品を使用すると発火・感電の原因になります。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使うのを止める

そのまま使用すると発火・感電の原因になります。

⚠警告　●電源（AC アダプター・コード・プラグ）について

AC アダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない

電源コードから発煙したり、発火の原因になります。

添付の AC アダプターや電源コードは、他の機器につながない

発火や感電の原因になります。
添付の AC アダプターや電源コードは、本製品専用です。

AC100V（50/60Hz）以外のコンセントにつながない

発火、発熱のおそれがあります。

コンセントまわりは定期的に掃除する

長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。（トラッキング現象）
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

熱器具のそばに配線しない

電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。

電源コードや AC アダプターにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない

電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。
電源コードの芯線 (電気の流れるところ) が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く

そのまま使うと発火・感電の原因になります。

ゆるいコンセントにつながない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して発火の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない

発火の原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると傷が付き、発火や感電の原因になります。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない

テーブルタップの定格容量 (1500W などの記載) を超えて使用するとテーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

⚠注意

本製品を踏まない

破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

取り付け、取り外しの際は手袋をつける

ハンダ付けの跡やエッジ部分などがとがっている場合があります。誤って触れると、けがをするおそれがあります。

人が通行するような場所に配線しない

足を引っ掛けると、けがの原因になります。

使用上のご注意

≪重要≫データバックアップのお願い

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。
万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」をおこなってください。
本製品または接続製品の保存データの破損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などをすることもできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

バックアップとは
本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体（HDD・BD・DVD など）にデータの複製を作成することです。（データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが 2 か所にあることを「バックアップ」と言います。）
万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップを行ってください。

最新のファームウェアをご利用ください

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。最新版でない場合、保証適用を受けられない場合もあります。

本製品を廃棄や譲渡などされる際のご注意

・HDD などのストレージに記録されたデータは、OS 上で削除したり、フォーマットするなどの作業をおこなっただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性もありますので、情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめします。
※ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。
・NarSuS に登録している場合は、製品登録情報を削除してください。
・本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

制限事項

・本製品にはあらかじめ下記のユーザー、グループ、共有フォルダーが作成されています。誤って削除しないようご注意ください。また、このユーザー名でログインしないでください。

ユーザー	admin　manx_admin　ituser00000 ～ ituser99999
グループ	itUserGroup　StorageAccessibleUsers
共有フォルダー	Atmos　Backup　History　ITFolder　Log　Manx　Temp

・e-Sharing サービスご利用時、ご利用いただけない機能がございます（iSCSI、記憶域プール、ドメイン参加 等）。
また、弊社製ソフトウェア「データコピー for Windows」「クローン for Windows 」は、本製品にプリインストールされていますが、e-Sharing サービスご利用時はご利用いただけません。
詳細は、下記 RICOH e-Sharing サービスマニュアルもしくは弊社 Web ページをご確認ください。

▼ RICOH e-Sharing サービスマニュアル

https://manuals.ricoh.com/e-sharing-service/manual/html/help/web/ja/booklist/int/index_book.htm

※ RICOH e-Sharing サービスでは、本製品「アプライアンスサーバー APX2-ESS/RO5A」を、「RICOH e-Sharing サービス : Station」と呼びます。

▼弊社 Web ページ

https://www.iodata.jp/product/nas/appliance/apx2-essro5/

その他のご注意

・動作中に本製品や外付け HDD の電源を切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
・本製品はローカルネットワーク上でご利用ください。本製品にグローバル IP アドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。
ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。
・動作確認済み以外のソフトウェアは、インストール（利用）しないでください。本製品の安定運用に影響を及ぼすおそれがあります。
動作確認済みのソフトウェアは以下の弊社ホームページをご確認ください。
https://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk_soft.htm
・本製品を以下のような機能を設定して、利用することはできません。
- ファイアウォール、VPN、Web キャッシュの役割
- メールサーバー
- 認証サーバー（ドメインコントローラー等）
- ネットワーク・インフラストラクチャ・サービス（Web サーバー等）
・本製品は「スリープ」には対応しておりません。

お手入れについて

本製品についた汚れなどを落とす場合は、本製品の電源を切り、電源コードを抜いてから、柔らかい布で乾拭きしてください。
・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭く。
・ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使わない。変質したり、塗装をいためたりすることがあります。
・市販のクリーニングキットは使わない。

添付品を確認する

□ AC アダプター（1 個）

□ 電源コード（1 本）※ AC アダプター専用

□ AC プラグ変換アダプター（1 個）

□ カテゴリー 6A LAN ケーブル（1 本）

□ リカバリー USB メモリー（1 本）

□ NAS メンテナンスカード（1 枚）

☑ 管理マニュアル（本書）

NAS メンテナンスカードについて

本製品のシリアル番号（S/N）が記載されています。
本製品側面のカードフォルダーに入れて保管します。

ユーザー登録はこちら…https://ioportal.iodata.jp/

ユーザー登録にはシリアル番号（S/N）が必要となりますので、メモしてください。
シリアル番号（S/N）は本製品貼付のシールに印字されている 12 桁の英数字です。
（例：ABC1234567ZX）

AC プラグ変換アダプターの接地接続（アース接続）についてのご注意

接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行って下さい。
また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行って下さい。

動作環境

対応機種・OS、ハードウェア仕様、対応外付け HDD・周辺機器・UPS、対応ソフトウェアなどの情報については、下記弊社 Web ページにアクセスしてご確認ください。

https://www.iodata.jp/product/nas/appliance/apx2-esstro5/

ご注意

- ●本製品および別売オプション HDD 以外のご利用はサポート対応外となります。
- ●本製品の設定には、Windows のリモートデスクトップ機能を利用しています。Mac など他のパソコンからの設定はおこなえません。上記「本製品の設定に必要な環境」の「環境②」をご用意ください。
- ●本製品は、RAID 構成により、ハードディスクの故障によるデータの破損およびシステムダウンを防ぐことはできますが、ウイルスの感染やユーザーの操作ミス、使用中の停電などのトラブルに起因するデータ損失を防ぐことはできません。USB HDD などへのバックアップをご利用ください。
- ●外付け HDD をはじめて本製品に接続して使用する場合は、必要に応じてフォーマットをおこなってください。
- ●外付け HDD は、本製品のバックアップ先としてのみ使用してください。

UPS との電源連動方法について

本製品は、出荷時設定で停電などで電源が落ちた際でも復電時に自動で起動します。
※この場合でも元々本製品の電源が入ってない場合は起動しません。
設定を変更する場合は、以下をお試しください。

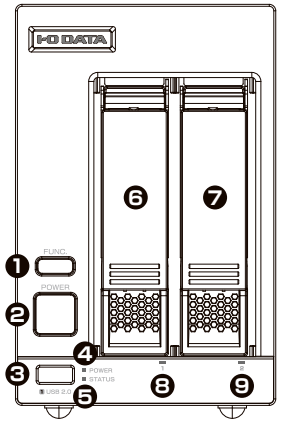
① 本製品の電源投入直後より、USB キーボードの［DEL］キーを押しつづける
→ BIOS 設定画面が起動します。
② カーソルキーで［IntelRCSetup］→［South Bridge Chipset Configuration］を選び、［Enter］キーを押す
③ カーソルキーで［State After G3] を選び、［Enter］キーを押す
④ 設定値を選び、［Enter］キーを押す

Last State	電源復電後、前回の電源状態を維持します。（出荷時設定）
Always On	電源復電後、本製品が起動します。
Always Off	本製品を電源オフのままにします。

⑤ USB キーボードの [ESC] キーを押し、［Save & Exit］→ [Save Changes and Reset] を選び、［Enter］キーを押す
⑥「Save configuration and reset?」で［Yes］を選び、［Enter］キーを押す

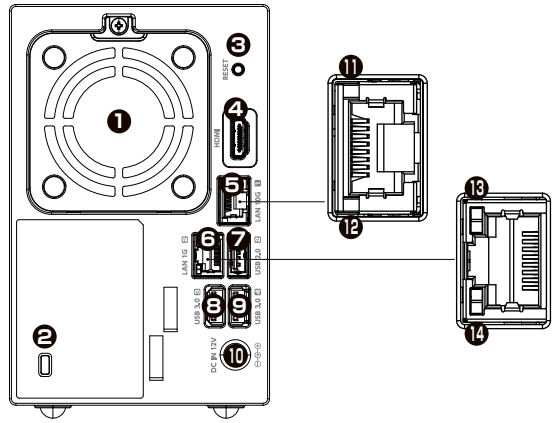
各部の名称・機能

前面



❶ FUNC. ボタン		3秒以上押すと、あらかじめ ZWS Manager に登録したプログラムを実行できます。 また、エラー発生時にブザーが鳴りつづけている時に押すと、ブザーを停止します。
❷ POWER ボタン		短押し（1 秒程度）→本製品の電源を ON/OFF します。 ※電源 ON の状態で 3 秒以上押し続けると強制電源 OFF になります。3 秒以上電源ボタンを押し続けないでください。
❸ USB ポート 1		増設用ハードディスクなどをつなぎます。（USB 2.0）
❹ POWER ランプ	消灯	コンセント未接続
	赤点灯	電源 OFF（コンセント接続済み）
	緑点灯	電源 ON
❺ STATUS ランプ		本製品の状態を示します。 詳しくは、【故障と思ったら…】（54 ページ）をご覧ください。
❻ディスク 1 ❼ディスク 2		カートリッジを接続します。 脱着レバーは、カートリッジを取り出す際に利用します。
❽ディスク 1 ランプ ❾ディスク 2 ランプ	青点灯	正常認識時
	青点滅	アクセス時
	赤点灯	エラー時
	消灯	未接続時

背面

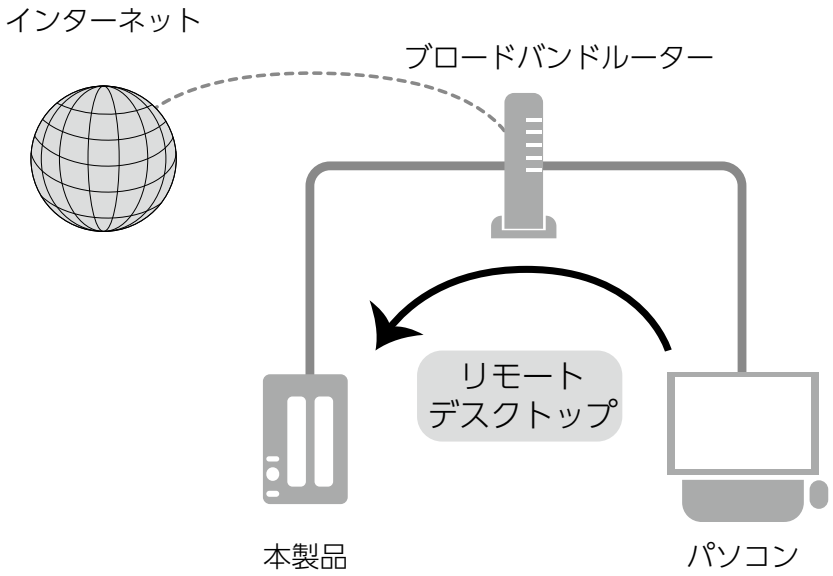


❶ファン		冷却用ファンです。ふさがないでください。
❷ケンジントンセキュリティスロット		盗難対策にケンジントン製ロックを取り付けられます。
❸ RESET スイッチ		使用しません。
❹ HDMI コネクター		ディスプレイを接続します。
❺ LAN ポート 1（10G）		添付の LAN ケーブルを接続します。 ※最大 10Gbps（理論値）で通信するには、ネットワークが 10GbE に対応している必要があります。LAN ケーブルについて、55m まではカテゴリー 6 で対応可能です。
❻ LAN ポート 2（1G）		添付の LAN ケーブルを接続します。
❼ USB ポート 2		増設用 HDD などを接続します。（USB 2.0）
❽ USB ポート 3		増設用 HDD などを接続します。（USB 3.0/2.0）
❾ USB ポート 4		増設用 HDD などを接続します。（USB 3.0/2.0）
❿ DC-IN		添付の AC アダプターを接続します。
⓫ Link/Act ランプ（10G）	黄緑点灯	LINK 中
	黄緑点滅	データを送受信中
	消灯	未接続
⓬ LAN Speed ランプ（10G）	黄緑点灯	10G
	橙点灯	5G/2.5G/1G/100M のいずれか
	消灯	未接続
⓭ Link/Act ランプ（1G）	黄緑点灯	LINK 中
	黄緑点滅	データを送受信中
	消灯	未接続
⓮ LAN Speed ランプ（1G）	黄点灯	1G
	消灯	100M/10M/ 未接続のいずれか

導入する

ステップ 1　設置する

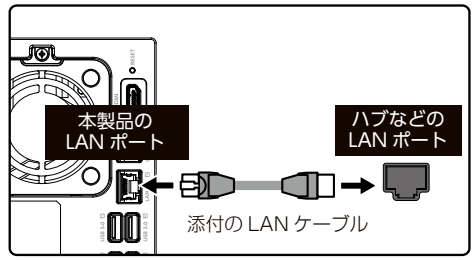
本製品は、同一ネットワーク上にあるパソコンからリモートデスクトップ機能を利用して管理します。
また、本製品に直接ディスプレイなどを接続し、管理することもできます。



本製品を複数台導入する場合
コンピューター名が重複すると、一方の本製品がネットワーク上で認識されないなどの不具合になります。先に初期設定を完了している本製品のコンピューター名を変更してから、次の本製品の初期設定をおこなってください。
【コンピューター名 / ドメイン名の設定を確認する】（27 ページ）参照

※ネットワークを利用せずに設定する場合は、【ネットワークを利用せずに設定する場合】（15 ページ）をご覧ください。

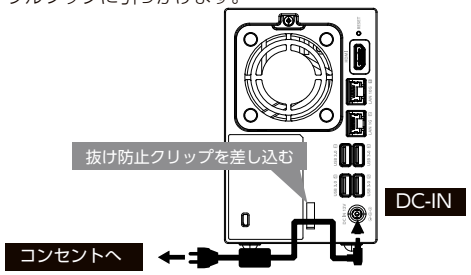
1 添付の LAN ケーブルを本製品とハブにつなぐ



10G LAN ポート
カテゴリー 6A の LAN ケーブルで接続すると最大 10Gbps（理論値）で通信することができます。
※最大 10Gbps（理論値）で通信するには、ネットワークが 10GbE に対応している必要があります。

ご注意
●必ず、LAN ケーブルが確実に接続されていることを確認してから本製品の電源を入れてください。LAN ケーブルを接続する前に本製品の電源を入れると、正しくネットワークに参加できなくなります。

2 添付の電源コードを本製品とコンセントにつなぐ
※ケーブルフックに引っかけます。



添付の AC アダプターと電源コード
※必要に応じて AC プラグ変換アダプターをご利用ください。

3 前面の電源ボタンを押す

本製品の電源が入ります。
次に【リモートデスクトップ接続する】（17 ページ）へお進みください。

電源を切る場合
●動作中にシャットダウンを完了せずに、電源コードを抜いたり、スイッチ付き AC タップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。電源の切り方については、次ページをご覧ください。

電源の切り方

ご注意

- ●外付け HDD やプリンターがある場合は、本製品の電源を切ってから、外付け HDD やプリンターの電源を切ってください。
- ●ファイルコピー中に本製品や外付け HDD の電源を切るとコピーの処理が正常におこなわれません。本製品や外付け HDD のアクセスランプを確認の上、電源を切ってください。
- ●本製品設定中は本製品の電源を切らないでください。
- ●本製品起動処理中は本製品の電源を切ることはできません。
- ●長期間使用しない場合は、電源コードをコンセントから外しておくことをおすすめします。

本製品の電源ボタンで切る

本製品前面の電源ボタンを短押し（1 秒程度）します。
シャットダウン処理が終了すると、自動的にランプが消灯します。

ご注意

- ●電源ボタンを長押し (3秒以上) しないようご注意ください。3 秒以上押した場合、強制電源断状態となり製品再起動後に RAID リビルドが発生する場合があります。
- ●本製品がロック状態になっていると、電源ボタンを押してもシャットダウンできない場合があります。この場合、USB キーボードでロックを解除してから電源ボタンを押してください。

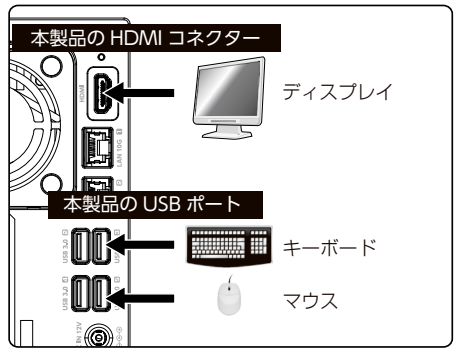
リモートデスクトップで切る

①[スタート] →［電源］をクリックし、［シャットダウン］をクリックします。
②該当する理由を選択し、［続行］をクリックします。

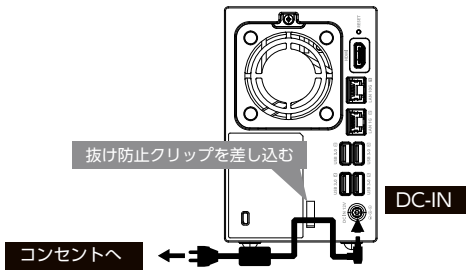
シャットダウン処理が終了すると、自動的にランプが消灯します。

ネットワークを利用せずに設定する場合

1 ① HDMI コネクターにディスプレイをつなぐ
② USB ポートにキーボード、マウスをつなぐ



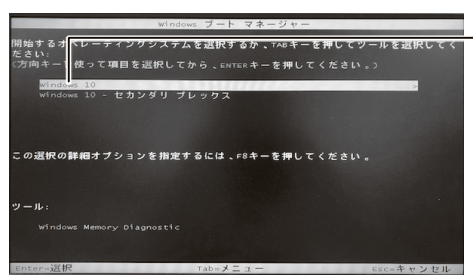
2 添付の電源コードを本製品とコンセントにつなぐ
※ケーブルフックに引っかけます。



添付の AC アダプターと電源コード
※必要に応じて AC プラグ変換アダプターをご利用ください。

3 前面の電源ボタンを押す

4



キーボードの方向キーで［Windows 10］を選び［Enter］キーを押す

4



① [admin] を入力

② [→] をクリック

パスワードは、後ほど変更してください

●出荷時パスワードは「admin」です。セキュリティのため、パスワードは変更してください。
（【困った時には】（31 ページ）参照）

ログオンに成功すると、初期画面が開きます。この画面から設定をおこないます。
次に【ステップ2　NarSuS に登録する】（19 ページ）へお進みください。

LAN DISK CONNECT をダウンロードする

下記弊社 Web ページにアクセスし、LAN DISK CONNECT をインストールしてください。

https://www.iodata.jp/r/5160

※ LAN DISK CONNECT についてはヘルプをご覧ください。
（LAN DISK CONNECT 起動後にメニューの［ヘルプ］をクリック）

リモートデスクトップ接続する

1　LAN DISK CONNECT を起動する

2



①検出された本製品を右クリック

②［設定画面を開く］をクリック

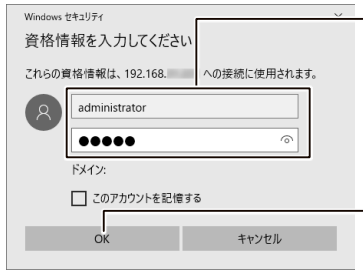
本製品が検出されない

［機器リストの更新］をクリックしてください。それでも検出されない場合は、本製品やお使いのパソコンがネットワークに接続されていることをご確認ください。

［IP 設定］について

コンピューター名の変更、ワークグループの変更、IPv4 設定（IPv6 設定）などのネットワーク設定ができます。
ここで設定できる項目はデバイスの種類やシステムバージョンによって異なります。
※ Active Directory ドメインに参加している場合、ネットワーク設定の変更はできません。
設定方法は、LAN DISK CONNECT のヘルプをご確認ください。

3



①以下の資格情報を入力

ユーザー名	administrator
パスワード	admin

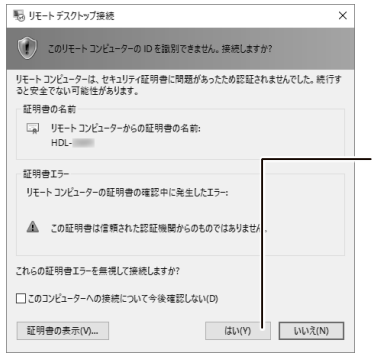
② [OK] をクリック

※上記画面が表示されない場合は、本製品とパソコンが同じセグメントにないことが考えられます。前ページの【[ネットワーク設定を変更] について】で IP アドレスをご確認ください。

パスワードは、後ほど変更してください

●出荷時パスワードは「admin」です。セキュリティのため、パスワードは変更してください。（【困った時には】（31 ページ）参照）

以下のような画面が表示された場合



[はい] をクリック

リモートデスクトップ接続をして、本製品の画面が開きます。
次に【ステップ2　NarSuS に登録する】（19 ページ）へお進みください。

Windows の［リモートデスクトップ接続］から開く場合

1．以下の手順で［リモートデスクトップ接続］を起動する

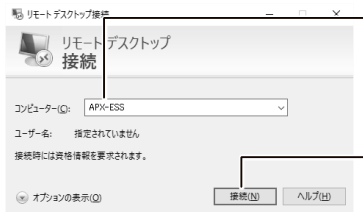
● Windows 10 の場合

[スタート] → [すべてのアプリ] → [Windows アクセサリ] → [リモートデスクトップ接続] をクリック

● Windows 11 の場合

タスクバーの虫眼鏡アイコンをクリックし、「リモート」で検索し、検索された中から [リモートデスクトップ接続] をクリック

2．



①コンピューター名を入力

コンピューター名について

出荷時設定では、APX-ESS を入力します。

② [接続] をクリック

このあと、上記手順 4 をご覧ください。

ステップ２　NarSuS に登録する

NarSuS（ナーサス）とは？

NarSuS は、24 時間 365 日、お客様の NAS を見守る安心サービスです。
万一トラブルが発生しても、自動的にメールでトラブルをお知らせします。
本製品に接続された UPS や外付け HDD の見守りもおこなえます。
詳しくは以下の URL から、NarSuS ヘルプをご確認ください。
https://www.iodata.jp/lib/manual/narsus_help_lib/index.html

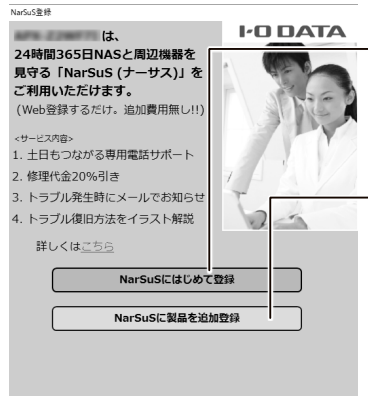
ご注意

●本機能は、IPv4 ネットワークでのみ使用できます。

● Internet Explorer でご利用の場合、あらかじめ "https://www.narsus.jp" を [インターネットオプション] →［セキュリティ] から [信頼済みサイト] に登録しておいてください。

1

※本製品へのログオンに成功したら、以下のような画面が表示されます。

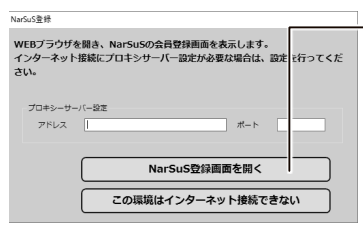


● NarSuS に LAN DISK を登録したことがない場合
［NarSuS にはじめて登録（無料)］をクリック

●すでに他の LAN DISK を登録している場合
［NarSuS に製品を追加登録］をクリック

※ NarSuS 登録をしてから、本製品の設定をおこなってください。

2



[NarSuS 登録画面を開く] をクリック

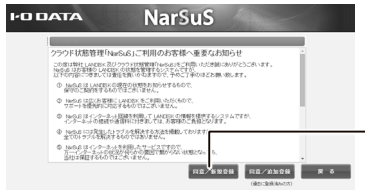
[プロキシサーバー設定]

インターネット接続にプロキシサーバーの設定が必要な場合は、ご利用のネットワーク管理者に設定等をご確認ください。

インターネットに接続できない場合

【インターネットに接続できない環境で NarSuS に登録する】（22 ページ）をご覧ください。

3



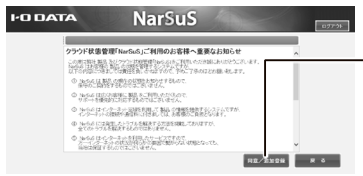
内容を確認し、
[同意 / 新規登録] をクリック

追加で登録する場合



①登録済みの [ID]、[パスワード] を入力

②[ログイン] をクリック



③[同意／追加登録] をクリック

このあと、手順 4 へお進みください。

4　画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する
※ LAN ポートが複数ある LAN DISK の場合は、「MAC1」の MAC アドレスを入力してください。

5　登録が完了したら、Web ブラウザーを閉じる

登録通知メールが送付されますので、保管しておいてください。
以上で NarSuS 登録は完了です。

ご注意

●登録に失敗した場合、以下をご確認ください。
- 本製品がインターネットに接続可能な環境に設置されていること（LAN ケーブルが正しく接続されていること）
- プロキシを介してインターネットへ接続する場合は、プロキシが正しく設定されていること
- 本製品の TCP/IP 設定を手動でおこなっている場合は、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーが正しく設定されていること
- お使いの Web ブラウザーのキャッシュ（Cookie）をクリアして再度お試しください。

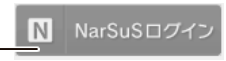
NarSuS へのログイン方法

方法 1　以下 URL にアクセスしてください。
https://www.narsus.jp/

方法 2　①タスクトレイのアイコンをクリック



②NarSuS 設定画面右上の
[NarSuS ログイン] ボタンをクリック



NarSuS 設定画面



NarSuS リモート設定		通常は［OFF］にしてご利用ください。 ※アイオー保守パートナー様向けの拡張機能です。 本製品のファームウェアバージョンアップなど、 定期的なメンテナンスをリモート操作で実施可能になります。
NarSuS 設定		プロキシの設定が必要な場合、［プロキシサーバー］にチェックをつけ、 プロキシサーバーの［アドレス］と［ポート］を入力します。 ※設定内容については、 ご利用のネットワーク管理者に確認してください。 ※［認証用プロキシ設定］をクリックすると、 認証用の［ユーザー名］［パスワード］を設定できます。
アップデート設定	自動アップデート設定	NarSuSアプリやNarSuSのイベント通知の定義ファイルが更新された場合の、 自動アップデートについて設定します。 自動アップデートする場合は、 実行する曜日、時刻を設定できます。 ※出荷時には、自動アップデートは有効になっています。
	プログラム手動更新	クリックすると、 本NarSuSアプリを更新します。
	定義ファイル手動更新	クリックすると、 NarSuSのイベント通知の定義ファイルを更新します。

※アップデート時に再起動する場合があります。 ご注意ください。
※本設定は、 管理ソフト「ZWS Manager」のアップデートも対象です。

利用コードの確認

設定によっては、利用コードを求められます。
NarSuS の Web ページにログインし、本製品を選んだ後、［製品詳細登録］をクリックして、利用コードを確認してください。

NarSuS の利用方法

NarSuS へログイン後、
[NarSuS のヘルプ] をクリック

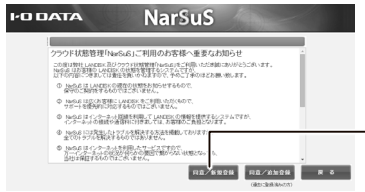


スマートフォンからは、以下の QR コードを読み込むと閲覧できます。

インターネットに接続できない環境で NarSuS に登録する

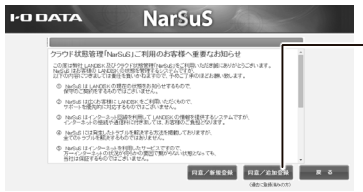
1 インターネットに接続できるパソコンから、次の URL にアクセスする
https://www.narsus.jp/user-reg

2



内容を確認し、
[同意 / 新規登録] をクリック

追加で登録する場合



① [同意 / 追加登録] をクリック



②登録済みの [ID]、[パスワード] を入力

③ [ログイン] をクリック

このあと、手順 3 へお進みください。

3 画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する
※ LAN ポートが複数ある LAN DISK の場合は、「MAC1」の MAC アドレスを入力してください。

4

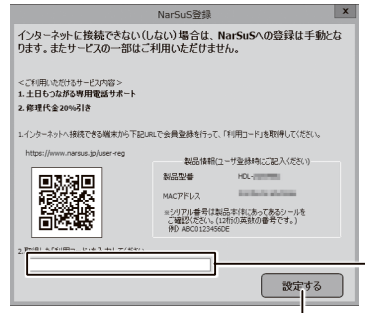


登録完了画面に表示された
「ご利用コード」をメモする

※登録通知メールが送付されますので、保管しておいてください。

5 本製品にログオンする

6



①メモした [ご利用コード] を入力

② [設定する] をクリック

以上で NarSuS 登録は完了です。

ステップ３　本製品の初期設定

初回起動時におこなう必要最小限の設定です。

1 NAS に設定する以下の項目を確認する
※設置場所のネットワークによります。
・IP アドレス
・サブネットマスク
・デフォルトゲートウェイ
・DNS サーバー

2 Administrator でログオンする

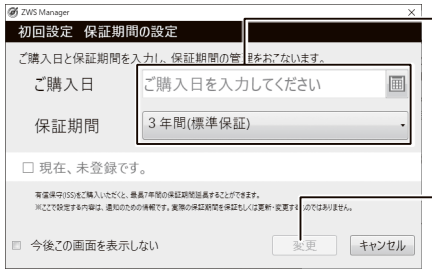
3



①新しいパスワードを入力

②［変更］をクリック
※再度変更する場合は、【困った時には】（31 ページ）参照

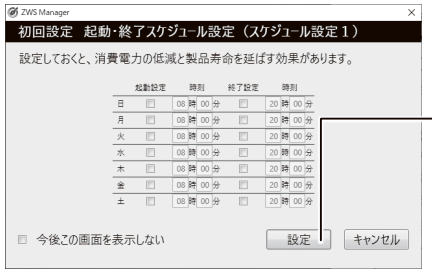
4



①ご購入日と保証期間を選ぶ

②［変更］をクリック

5



スケジュール設定をして
［設定］をクリック

【日時・時刻設定を確認する】（25 ページ）へお進みください。

SNMP を利用する場合
C:¥I-O DATA フォルダーに設定のためのツールと設定方法を記載したファイルが格納されています。
SNMP 設定をおこなう場合は、C:¥I-O DATA フォルダーを参照してください。

日時・時刻設定を確認する

1



①タスクトレイの時刻をクリック

②［日付と時刻の設定］をクリック

2



［時刻を自動的に設定する］を［オン］にする

本製品がインターネットに接続しない場合
●本製品がインターネットに接続されていない場合は、［日付と時刻を変更する］の［変更］から正確な時刻を設定してください。



以上で、設定は完了です。

IP アドレスを確認する

1 画面の左下にマウスポインターを移動し、右クリックして表示されたメニューの［コントロールパネル］をクリック

2 ［ネットワークとインターネット］→［ネットワークと共有センター］をクリック

3



［アダプターの設定の変更］をクリック

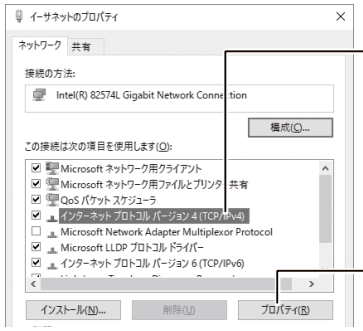
4



①設定する LAN アダプターを右クリック

②［プロパティ］をクリック

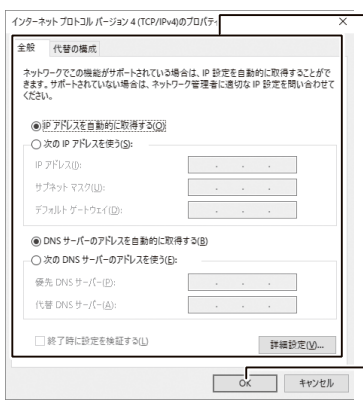
5



①［インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)］を選ぶ

②［プロパティ］をクリック

6



①IP アドレスを設定

②［OK］をクリック

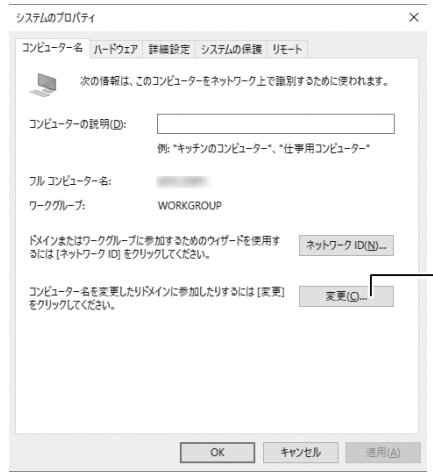
以上で、設定は完了です。

コンピューター名 / ドメイン名の設定を確認する

1 画面の左下にマウスポインターを移動させ、右クリックして表示されたメニューの［システム］をクリック

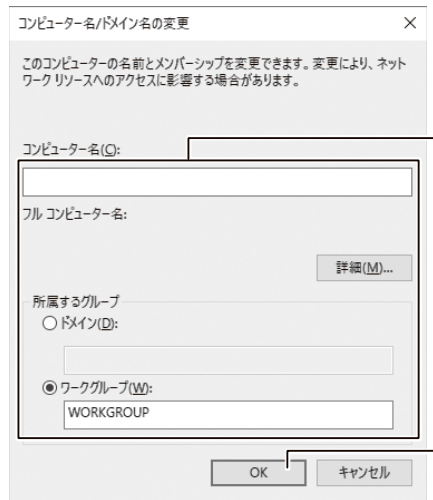
2 ［コンピューター名］横の［設定の変更］をクリック

3



［変更］をクリック

4



①必要に応じて設定を変更する

②［OK］をクリック

このあと、画面の指示にしたがって本製品を再起動します。
以上で設定は完了です。

Windows Update を実行する

Windows Update では、本製品にインストールされている OS の既知の脆弱性に対する最新のセキュリティパッチがインストールされます。
必ずはじめにおこなってください。

ご注意

●本手順は、本製品がインターネットにアクセスできる環境にある必要があります。

1 画面の左下にマウスポインターを移動し、右クリックして表示されたメニューの［設定］をクリック

2 ［更新とセキュリティ］→［Windows Update］をクリック

3



更新がある場合は、
[更新プログラムのチェック] をクリック

更新プログラムのダウンロード、インストールが実行されますのでしばらくお待ちください。
以上で、初期設定は完了です。

機能について詳しくはヘルプをご覧ください

本書に記載のない機能など詳しくは、[スタート] → [ヘルプとサポート] をご覧ください。

Windows 10 IoT アップデート情報について

下記弊社 Web ページにてご案内しております。
https://www.iodata.jp/support/product/windowsupdate/win10iot/

管理ソフト「ZWS Manager」

ZWS Manager は本製品の RAID 管理、温度管理、その他設定をおこなう管理ソフトです。
ZWS Manager は本製品の起動と同時に自動的に起動します。
初期状態はタスクトレイ上に表示されています。

ご注意

● ZWS Manager は、Administrator の権限のユーザーでログオンした場合のみ起動できます。

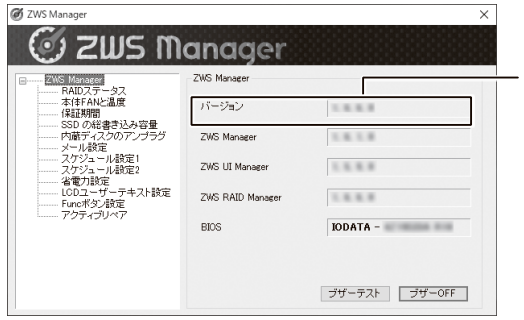
ZWS Manager メイン画面の表示方法



タスクトレイのアイコンをクリック

▼

ZWS Manager のメイン画面が表示されます。
画面左側が項目、右側が詳細情報ビューです。



ZWS Manager のバージョンは、［バージョン］をご確認ください。

ZWS Manager のアップデートについて

ZWS Manager は自動アップデートに対応しております。
自動アップデートの設定は NarSuS アプリでおこないます。詳しくは、【NarSuS 設定画面】（21 ページ）をご覧ください。

ZWS Manager ヘルプ

ZWS Manager については、ZWS Manager ヘルプでご確認ください。
https://www.iodata.jp/lib/manual/zwsmanager/　スマートフォンなどでも閲覧できます。⇒

RAID 設定

本製品で設定できる RAID モード

RAID 1（出荷時設定）	すべてのハードディスクに同じデータを同時に書き込むため、万一、一方のハードディスクが故障してもデータは安全に保護されます。
RAID 0	すべてのディスクを 1 つのボリュームとして認識します。 データ保護機能はありませんが、大容量と高速性を追求したモードです。

RAID モードを変更する場合

ご注意

- ●作業前に、データをバックアップしてください。RAID モード変更時にデータは消去されます。
- ●本製品のシステム領域の RAID モードは変更できません。

本製品にインストール済みの「ZWS Manager」で設定します。

1



タスクトレイの [ZWS Manager] アイコンをクリック

2



① [RAID ステータス] をクリック

② [DATA] をクリック

③変更する RAID モードを選ぶ

④ [RAID モード変更] をクリック

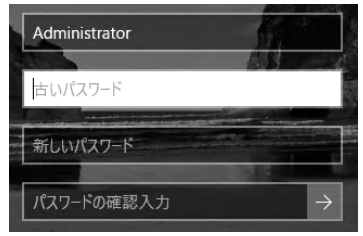
選択した [RAID モード] への変更を開始します。[状態] が再構築中になります。
※ RAID 1 へ構築した場合、2TB HDD 搭載モデルで約 6 時間かかります。

これで RAID モードの変更は完了です。

困った時には

Administrator のパスワードを再変更したい

初期設定時にパスワードの変更ができますが、再度変更したい場合は以下の手順にしたがってください。
① Administrator でログオンする
②キーボードの [Ctrl]+[Alt]+[End] キーを押す
※本製品にキーボード等を接続している場合は、キーボードの [Ctrl]+[Alt]+[Delete] キーを押す
③［パスワードの変更］をクリック
④パスワードを設定する



出荷時設定
出荷時のパスワードは「admin」です。
Administrator のパスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力します。

その他、困った時には

I-O DATA サポート Web ページをご確認ください。

https://www.iodata.jp/support/qa/landisk/hdl-z.htm

共有の作成と管理

共有を作成する

ご注意

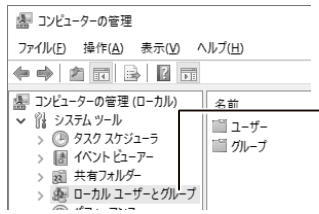
本製品にはあらかじめ下記のユーザー、グループ、共有フォルダーが作成されています。
誤って削除しないようご注意ください。また、このユーザー名でログインしないでください。
※同時接続台数は 20 台まで

ユーザー	admin　manx_admin　ituser00000 ～ ituser99999
グループ	itUserGroup　StorageAccessibleUsers
共有フォルダー	Atmos　Backup　History　ITFolder　Log　Manx　Temp

ユーザーを作成する

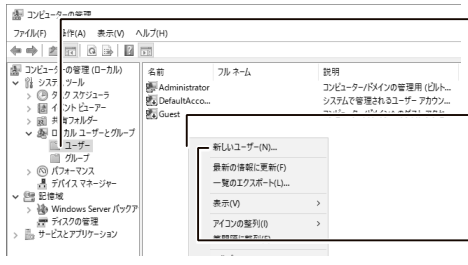
1 画面の左下にある Windows アイコンにマウスポインターを移動し、右クリックして表示されたメニューの［コンピューターの管理］をクリック

2



［ローカルユーザーとグループ］をダブルクリック

3

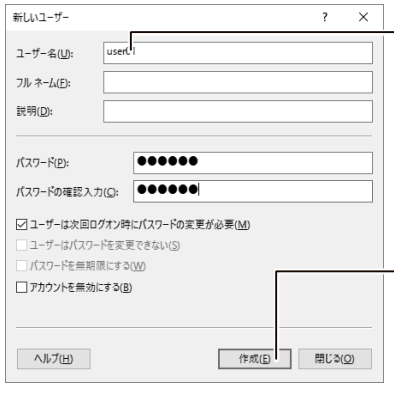


①［ユーザー］をクリック

②右側のスペースを右クリック

③［新しいユーザー］をクリック

4



①［ユーザー名］を入力

※他の項目も必要に応じて設定します。

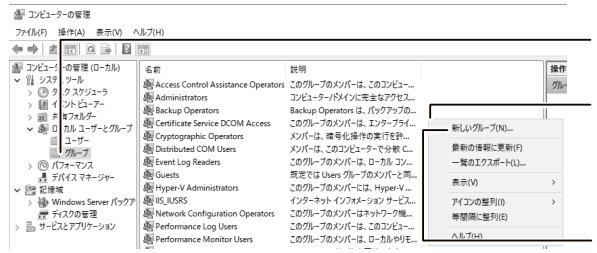
②［作成］をクリック

以上で、ユーザーの作成は完了です。次に必要に応じてグループを作成します。
※本製品に登録可能なユーザー数は、無制限です。

グループを作成する

1 【ユーザーを作成する】（32 ページ）の手順 1 ～ 2 を実行する

2



①［グループ］をクリック

②右側のスペースを右クリック

③［新しいグループ］をクリック

3

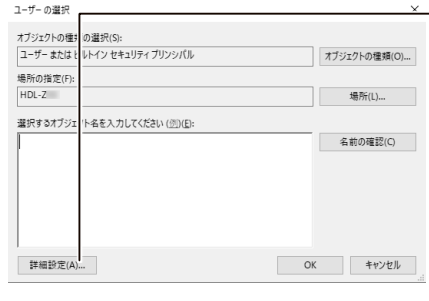


①［グループ名］を入力

※他の項目も必要に応じて設定します。

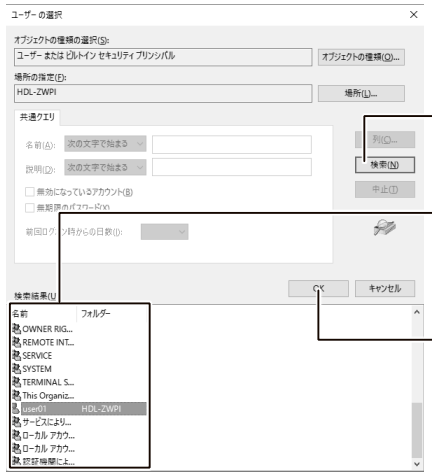
②［追加］をクリック

4



［詳細設定］をクリック

5

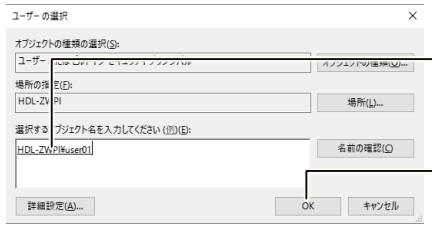


① [検索] をクリック

②グループに登録するユーザーを選択

③ [OK] をクリック

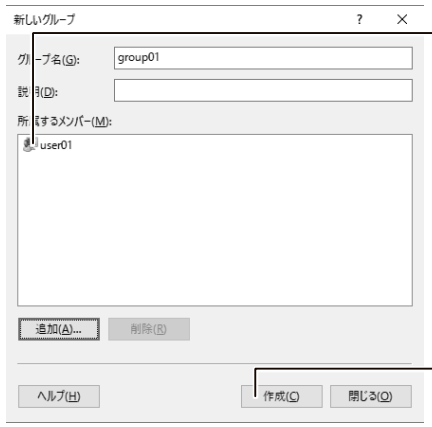
6



①選択したユーザーが表示されている
ことを確認

② [OK] をクリック

7



①選択したユーザーが表示されている
ことを確認

② [作成] をクリック

以上で、グループの作成は完了です。次に共有フォルダーを作成します。

共有フォルダーを作成する

1 をクリックし、共有するフォルダーを作成する

2



①フォルダーを右クリック

②［アクセスを許可する］→
［特定のユーザー］を
クリック

3



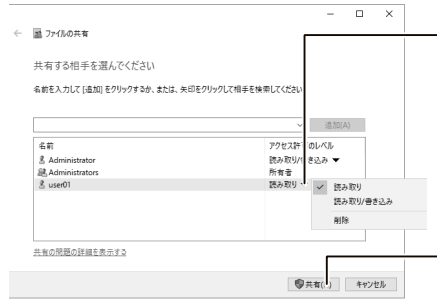
①共有するユーザーを選ぶ

※グループ名を入力することもできます。
※すべてのユーザーに読み書き可能にするには、
“Everyone”を選びます。

②［追加］をクリック

※複数追加する場合は、この操作を繰り返します。

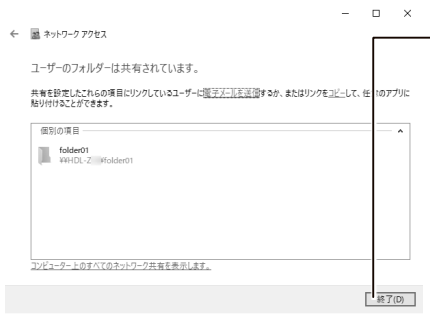
4



①アクセス許可のレベルを選ぶ

②［共有］をクリック

5



[終了] をクリック

以上で、共有フォルダーの作成は完了です。

ご注意

●本製品では、ユーザー "Guest" のアカウント初期設定は、" 無効 " になっています。すべてのユーザーからアクセス可能な共有フォルダーを作成する場合、以下の手順にて、ユーザー "Guest" のアカウントを有効にしてください。

①[サーバーマネージャー] を開き、[ツール] →[コンピューターの管理] を順にクリックします。

②[ローカルユーザーとグループ] をクリックします。

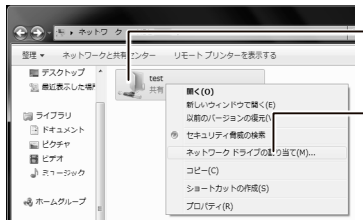
③[ユーザー] をクリックし、右側のユーザーが表示されている [Guest] を右クリックして、[プロパティ] をクリックします。

④[アカウントを無効にする] のチェックを外し、[適用] ボタンをクリックします。

ネットワークドライブの割り当て方法

本製品をネットワーク上から参照する際に、ネットワークドライブとして割り当てておくことができます。

①ネットワークに接続されているパソコンから、本製品の共有フォルダーを表示する



②ネットワークドライブとして割り当てる共有フォルダーを右クリック

③[ネットワークドライブの割り当て] をクリック



④本製品に割り当てる文字を選ぶ

⑤[ログオン時に再接続する] にチェック

⑥[完了] をクリック

これでネットワークドライブの割り当ては完了しました。

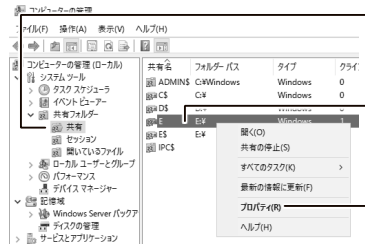
[コンピューター] などを開き、割り当てられたドライブが認識されていることをご確認ください。

ユーザー数制限

共有に一度にアクセスできるユーザー数を制限する機能です。

1 画面の左下にある Windows アイコンにマウスポインターを移動し、右クリックして表示されたメニューの［コンピューターの管理］をクリック

2

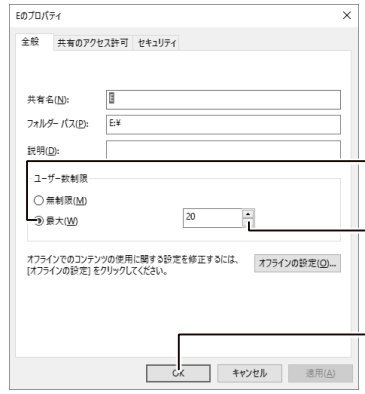


①[共有フォルダー] の [共有] を開く

②制限する共有フォルダーを右クリック

③[プロパティ] をクリック

3



①[最大] を選ぶ

②制限する人数を選ぶ

③ [OK] をクリック

以上で設定は完了です。

アクセス許可

各共有へのユーザーのアクセスレベルを設定します。

1 画面の左下にある Windows アイコンにマウスポインターを移動し、
右クリックして表示されたメニューの［コンピューターの管理］をクリック

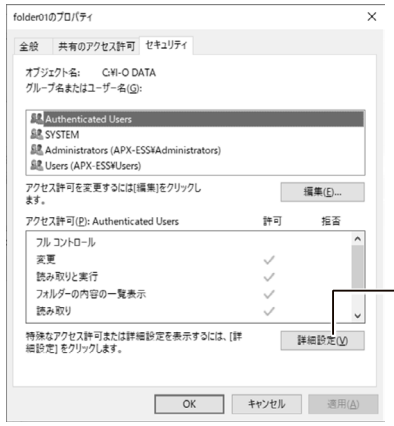
2



①［共有フォルダー］の［共有］をクリック

②設定するフォルダーを右クリックして
プロパティをクリック

3



［詳細設定］をクリック

4



①アクセス許可設定をする

② [OK] をクリック

以上で設定は完了です。

USB HDD を暗号化する

Windows の「BitLocker」機能を利用して、USB HDD を暗号化します。

BitLocker とは？
ドライブを暗号化する Windows 標準の機能です。
BitLocker で暗号化することにより、不正にデータが取り出されることを防ぎます。
ここでは、USB HDD の暗号化方法について説明しています。

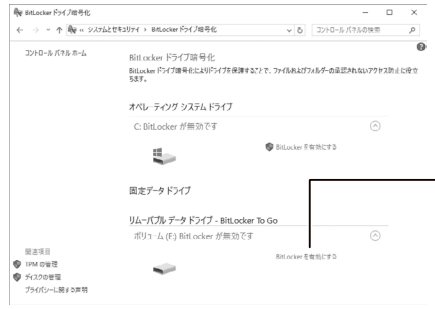
本製品の内蔵ディスクを暗号化する場合
本製品の内蔵ディスクに対して BitLocker 機能を利用できません。

USB HDD を BitLocker 暗号化する

1 画面の左下にある Windows アイコンをクリックし、
［Windows システムツール］→［コントロールパネル］をクリック

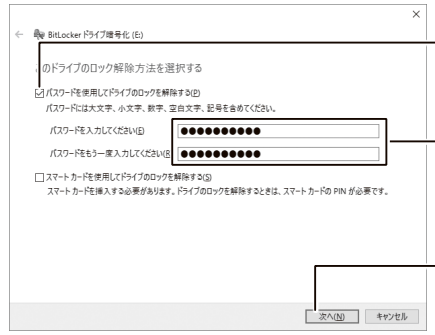
2 ［システムとセキュリティ］→［BitLocker ドライブ暗号化］をクリック

3



暗号化するドライブ横の［BitLocker を有効にする］をクリック

4

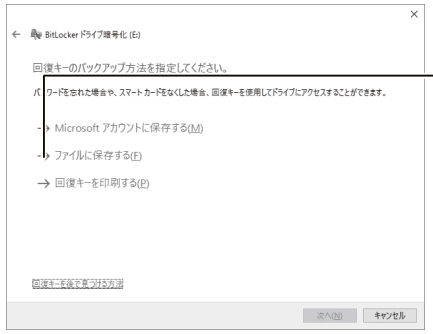


①［パスワードを使用して…］にチェック

②解除に使用するパスワードを入力

③［次へ］をクリック

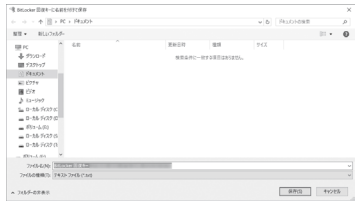
5



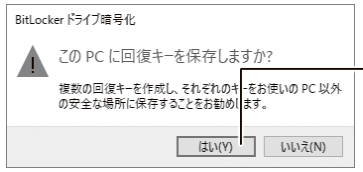
① [ファイルに保存する] をクリック

▼

②回復キーファイルの保存先を選ぶ



6



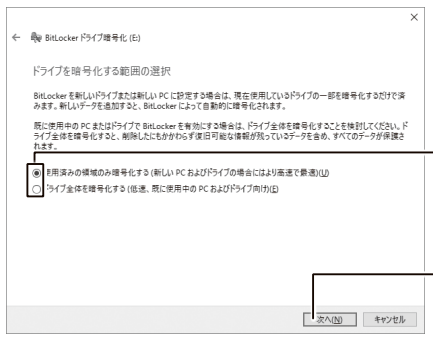
[はい] をクリック

7



[次へ] をクリック

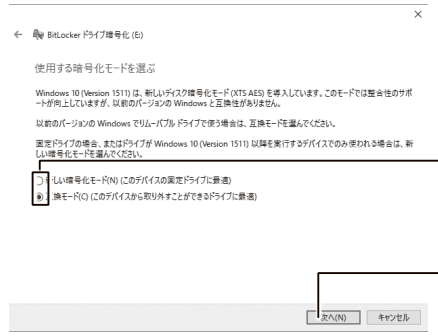
8



①暗号化範囲を選ぶ

②［次へ］をクリック

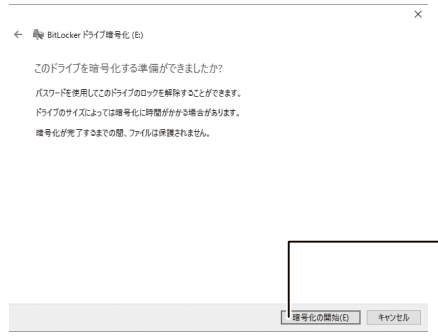
9



①暗号化モードを選ぶ

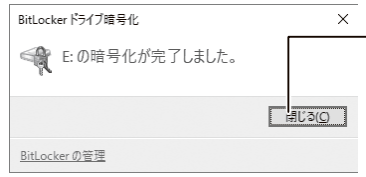
②［次へ］をクリック

10



［暗号化の開始］をクリック

11



［閉じる］をクリック

以上で BitLocker 暗号化は完了です。
このドライブにアクセスする場合は、設定したパスワードの入力が必要になります。

▼暗号化時のアイコン表示



▼暗号化解除時のアイコン表示



BitLocker 暗号化を無効にする

BitLokcer 暗号化を無効にする場合は、
コントロールパネルの［BitLocker ドライブ暗号化］を開き、無効にするドライブの［BitLoker を無効にする］をクリックしてください。



バックアップと復元（Windows 7）

Windows 標準の「バックアップと復元」を使用してバックアップを作成します。
以下の操作ができます。
・バックアップ設定（スケジュールバックアップ）
・復元（ベアメタル回復）

ベアメタル回復とは？
データが記録されていない HDD に対して、リカバリーをすることです。
事前に決まった形式でバックアップをとっておくことで、障害発生以前に稼動していたシステムの状態に復旧させることができます。
ベアメタル回復をおこなうためには、あらかじめ OS、アプリケーション、各種設定情報・構成情報などを VHD ファイルやディスクイメージファイルでバックアップしておく必要があります。
重大なシステム障害が発生した際には、そのバックアップからリカバリー（回復）できます。

バックアップ先に利用するディスクについて

バックアップ先には、NTFS フォーマットの USB HDD をご用意ください。
※ NTFS フォーマットで無い場合は、正常にバックアップできません。
※フォーマット方法は、USB HDD の取扱説明書をご確認ください。

対応 HDD は、【動作環境】（9 ページ）をご覧ください。

ご注意

●バックアップを実行する際に、USB HDD のフォーマットをおこなう場合があります。
事前に、必要なデータは他のドライブにコピーするなどバックアップしてください。

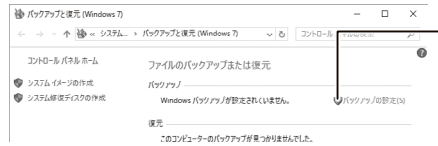
BitLocker 暗号化済みの USB HDD を利用する場合
BitLocker 暗号化を解除した状態で、バックアップ設定をおこなってください。
また、バックアップのスケジュール設定後も BitLocker 暗号化を解除した状態にしておいてください。

バックアップする

1 画面の左下にある Windows アイコンをクリックし、
［Windows システムツール］→［コントロールパネル］をクリック

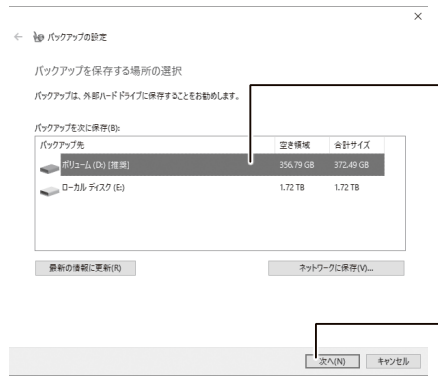
2 ［システムとセキュリティ］→［バックアップと復元（Windows 7）］をクリック

3



［バックアップの設定］をクリック

4



①バックアップを保存する外付け HDD を選ぶ

②［次へ］をクリック

目的の USB HDD が表示されない
● USB HDD の接続を確認してください。
● BitLocker 暗号化をしている場合は、解除してから［最新の情報に更新］をクリックしてください。

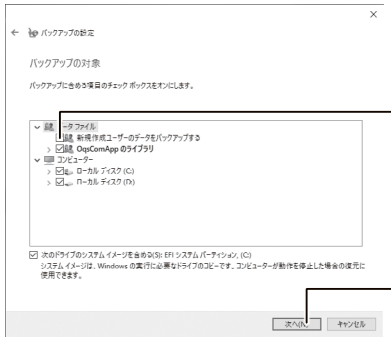
5



①［自分で選択する］を選ぶ

②［次へ］をクリック

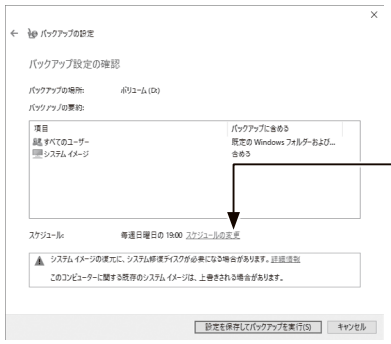
6



①バックアップするデータにチェックをつける

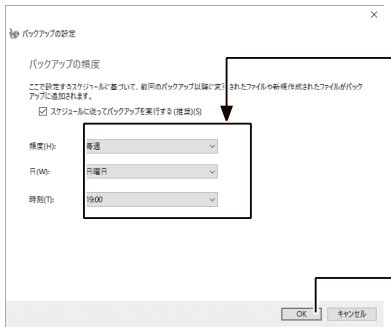
②［次へ］をクリック

7



［スケジュールの変更］をクリック

8



①バックアップスケジュールを設定

※スケジュール設定しない場合は、［スケジュールに従ってバックアップを実行する］のチェックを外します。

②［OK］をクリック

9



内容を確認し、［設定を保存してバックアップ］をクリック

以上で、バックアップ設定は完了です。
初回のバックアップが開始されます。

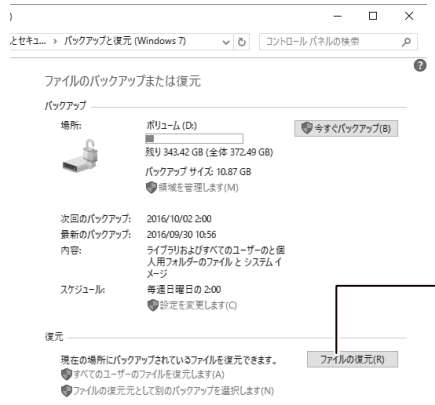
バックアップデータから回復する

バックアップデータから、ファイルやフォルダーを選択して復元する方法を説明しています。
システムを復元する場合は、【バックアップデータから復元する場合】（57ページ）をご覧ください。

1 画面の左下にある Windows アイコンをクリックし、［Windows システムツール］→［コントロールパネル］をクリック

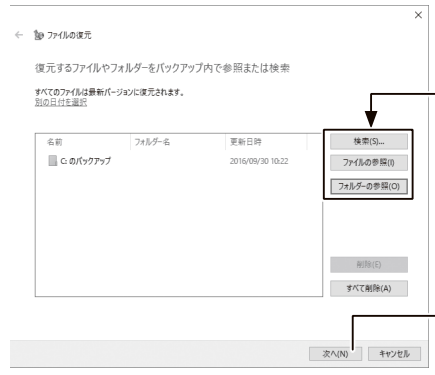
2 ［システムとセキュリティ］→［バックアップと復元（Windows 7）］をクリック

3



［ファイルの復元］をクリック

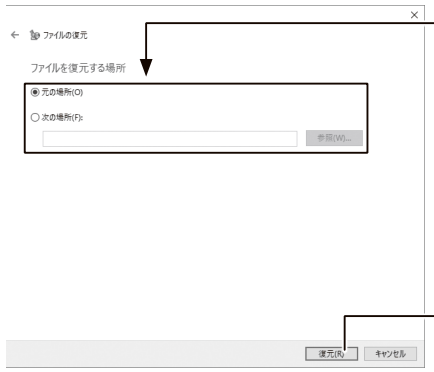
4



①クリックして復元するファイルやフォルダーを選ぶ

②［次へ］をクリック

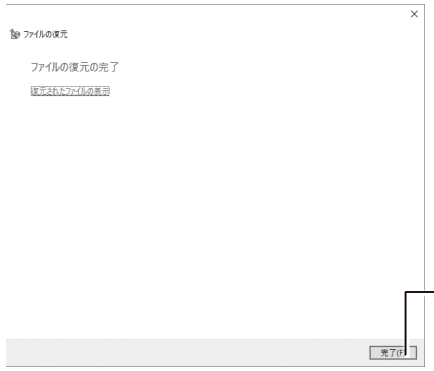
5



①復元する場所を指定

②［復元］をクリック

6



［完了］をクリック

以上で、復元は完了です。

ディスクとボリュームの活用

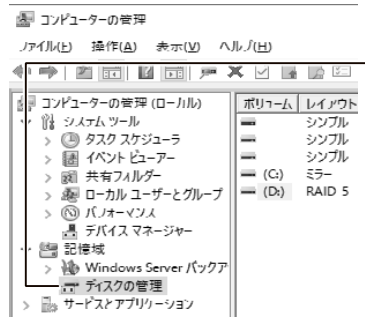
フォーマット

ご注意

●フォーマットを実行すると、ディスク内のデータはすべて消去されます。必要なデータがある場合は、フォーマットする前に必ずバックアップしてください。

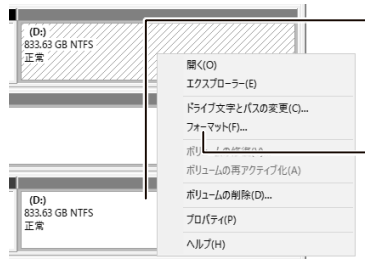
1 画面の左下にある Windows アイコンにマウスポインターを移動し、右クリックして表示されたメニューの［コンピューターの管理］をクリック

2



[ディスクの管理] をクリック

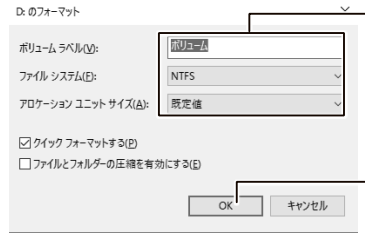
3



①フォーマットするボリュームを右クリック

②［フォーマット］をクリック

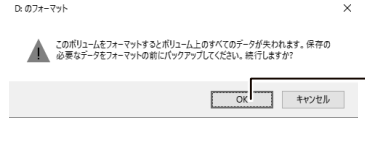
4



①必要に応じて変更

②［OK］をクリック

5



［OK］をクリック

フォーマットを開始します。

シャドウコピー設定

シャドウコピーは、ファイルが使用中かどうかに関わらず、その状態のコピーを作成する機能です。シャドウコピーしたデータを利用してファイルの復元などをおこなうことができます。

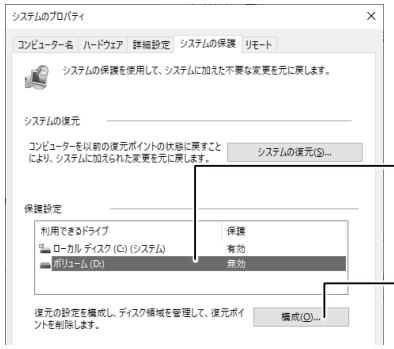
シャドウコピーを設定する

1 画面の左下にある Windows アイコンをクリックし、
［Windows システムツール］→［コントロールパネル］をクリック

2 ［システムとセキュリティ］→［システム］をクリック

3 画面右側のメニューから［システムの保護］をクリック

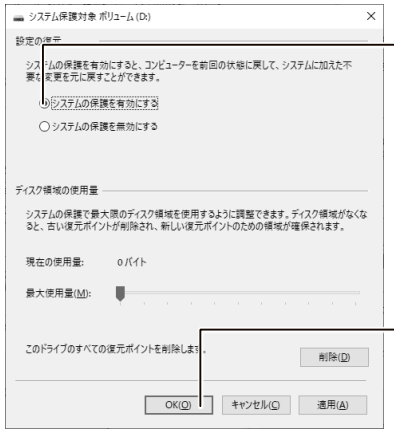
4



①目的のボリュームを選ぶ

② [構成] をクリック

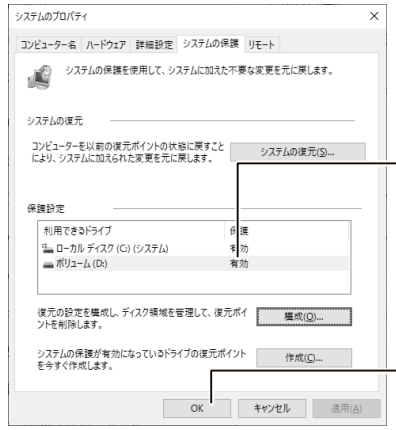
5



①［システムの保護を有効にする］に
チェックをつける

② [OK] をクリック

6



①目的のボリュームが［有効］に
なっていることを確認する

② [OK] をクリック

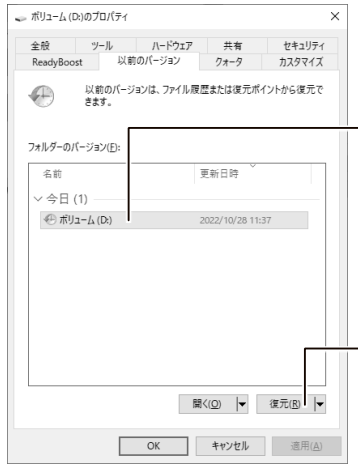
以上で設定は完了です。

シャドウコピーから復元する

1 をクリック

2 復元するボリュームまたはフォルダーを右クリックし
［以前のバージョンの復元］をクリック

3



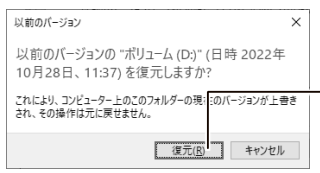
①復元する日時を選ぶ

② [復元] をクリック

ご注意

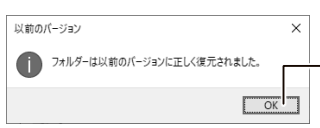
●復元すると、選択した日時より後におこなわれたシャドウコピーはすべて削除されます。
●復元を開始後は、途中でキャンセルできません。

4



[復元] をクリック

5



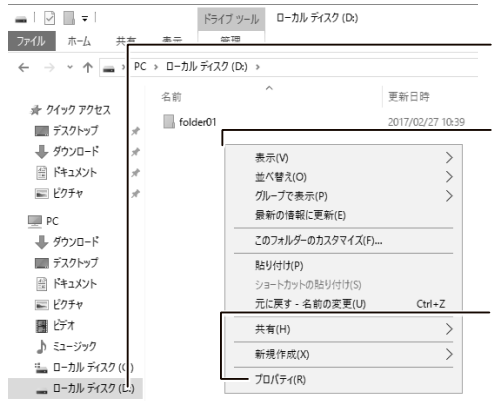
[OK] をクリック

以上で復元は完了です。

ファイル単位で復元する

1 をクリック

2

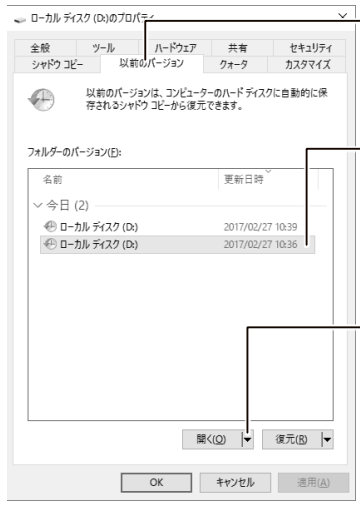


①復元するファイルがある
ドライブを開く

②空白部分を右クリック

③［プロパティ］をクリック

3



①［以前のバージョン］を
クリック

②復元するファイルが含まれたバージョンを選ぶ

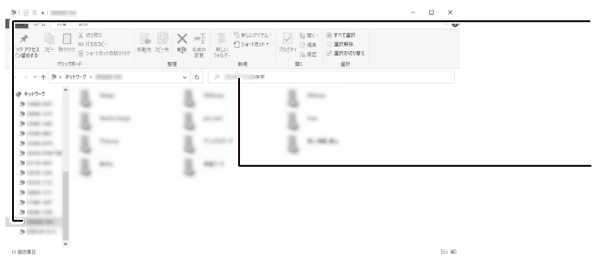
③［開く］をクリック

フォルダーが開きますので、ファイルをコピー＆ペーストすると復元できます。

ファイルを探す

全文検索機能

本製品に保存されたファイルの内容までを検索する機能です。
エクスプローラーで本製品を開き、検索することができます。



検索可能ファイルの確認方法

Windows のインデックスで確認することができます。
※インデックスには、ファイル名や更新日時など各ファイルの詳細情報が記録されています。
下記手順でご確認ください。
① Windows の［スタート］をクリックし、［設定］をクリック
②［検索］をクリック
③画面左の［Windows の検索］をクリックし、［詳細検索インデクサーの設定］をクリック

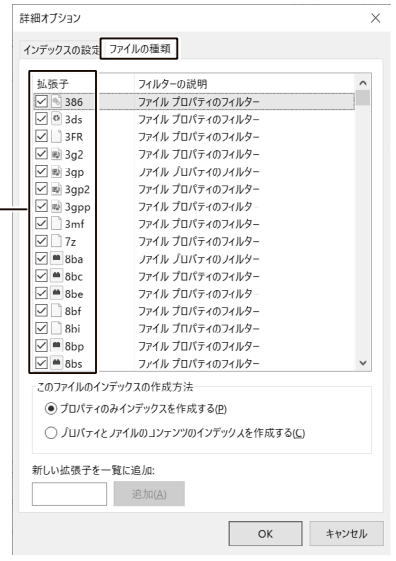


④［詳細設定］をクリック



⑤［ファイルの種類］タブをクリック

チェックのついている拡張子が検索対象のファイルです。



ウイルススキャン

Windows セキュリティ

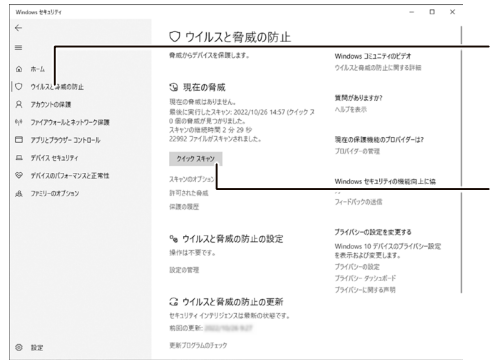
Windows 標準のセキュリティ機能「Windows セキュリティ」を使用してスキャンします。
出荷時設定で、リアルタイムスキャンが有効になっています。
手動でスキャンする場合は、以下の方法でおこなってください。

1



タスクトレイの［Windows セキュリティ］アイコンをクリック

2



①［ウイルスと脅威の防止］をクリック

②［クイックスキャン］をクリック

クイックスキャンが開始されます。

故障時の対応

故障と思ったら…

故障したカートリッジのディスクランプは赤点灯します。
本製品の各ディスクランプをご確認の上、カートリッジを交換してください。

カテゴリ	STATUS	ディスク	ブザー※1	動作内容	対処
通常稼動時	緑点灯	青点灯	なし	正常動作	–
RAID 再構築	緑点滅	青点滅	ピロッ	RAID 再構築中のとき	RAID を再構築中です。再構築が完了するまでカートリッジの抜き差しを行わないでください。
エラー	赤点滅	該当ディスク赤点灯	ビッビッ、ビッビッ…	デグレード発生時	至急ボリュームのバックアップを取ってください。構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。
	赤点滅	全ディスク赤点灯	ピーポー、ピーポー…	RAID 崩壊時	至急ボリュームのバックアップを取ってください。ボリュームに対してチェックディスクを実行し、ファイルシステムに問題がないことを確認してください。ログ・メールより構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。ボリュームにアクセスできなくなった場合は、ボリュームを再構築してください。
	赤点灯	全ディスク赤点灯	なし	起動ディスクがない時	起動ディスクが接続されていません。カートリッジが正常に接続されていることを確認してください。
	赤点灯	青点灯	なし	温度異常の時	設置環境を確認し、FAN からの排熱が逃げ易い環境であることを確認してください。温度異常を検知したら自動的に電源が切れますので、再起動後に再び同じ現象が起きたら FAN が正常に稼動していることを確認してください。
ボリューム不正	緑点滅	青点滅	ビー、ビー、ビー…	ボリューム不正時	ボリュームの状態が製品として想定外の不正な状態になっています。例えば、内蔵ディスクに C ドライブ、D ドライブ以外のボリュームが設定されている場合などに本状態となります。原因がご不明な場合は弊社サポートセンターにお問合せください。

※ 1　RAID 状態に変化があったときにブザーが鳴ります。ブザー音が鳴った場合、Func ボタンを押す、または、
ZWS Manager 上で [ブザー OFF] をクリックするとブザーが停止します。

故障の場合は…

弊社サポートセンターにお問い合わせください。
（【故障時のお問い合わせ】（66 ページ）参照）

システムリカバリーする

ご注意

- ●システムリカバリーをおこなうと、選択したモードによっては、本製品のシステムドライブ（C:）およびデータ領域は完全に出荷時の状態に戻ります。保存されていたデータや、設定情報はすべて失われますので、必ず事前にバックアップしてください。
- ●システムリカバリー後、システム領域および選択したモードによってはデータ領域の再構築がおこなわれます。
- ●システムリカバリーは、必ずすべてのカートリッジが取り付けられた状態でおこなってください。
- ●システムリカバリーをおこなうためには、添付のリカバリー USB メモリーが必要です。リカバリー USB メモリーの ISO イメージは、弊社 IOPortal からダウンロードできます。方法は、【ソフトウェアのダウンロード方法】（59 ページ）をご覧ください。

準備するもの

①次の機材を用意します。
・HDMI ディスプレイ
・USB キーボード、USB マウス
・添付のリカバリー USB メモリー

②本製品の電源を OFF にしてから、以下の機材を本製品に接続します。
※以下の機器以外は接続しないでください。
・HDMI ディスプレイを背面の HDMI コネクターに接続する
・USB キーボード、USB マウスを背面の USB ポートに接続する
・リカバリー USB メモリーを前面の USB ポートに接続する

・出荷時状態に戻す場合は、
【出荷時状態に戻す場合】（56 ページ）をご覧ください。

・USB HDD に保存したバックアップデータから復元する場合は、
【バックアップデータから復元する場合】（57 ページ）をご覧ください。

出荷時状態に戻す場合

1 前面の USB ポートにリカバリー USB メモリーをセットし、本製品の電源を入れる

リカバリープログラムが起動します。

エラーでリカバリーできない場合、リカバリープログラムが起動しない場合

● BIOS 設定の変更が必要な場合があります。

以下の手順で BIOS 設定を変更してください。

①本製品の電源投入直後より、[Delete] キーを押しつづけて、BIOS 設定画面を起動する

②カーソルキーで [Boot] を選ぶ

③カーソルキーで [Boot Option #1] を選び、Enter キーを押す

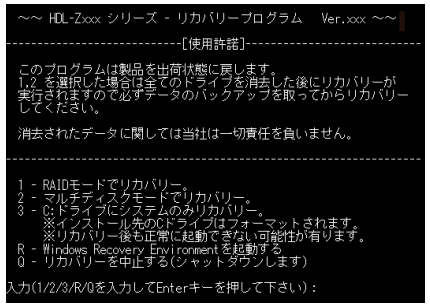
④ [USB Device N: XXX] を選び、Enter キーを押す

（N はスロット番号、XXX は USB メモリーのメーカー名とモデル名）

⑤カーソルキーで［Save & Exit］→［Save Changes and Exit］→［YES］を選び、Enter キーを押す

以上で BIOS 設定は変更されました。上記の手順 1 より再度実行してください。

2



［1］キーを押し、Enter キーを押す

[1 - RAID モードでリカバリー] をおこないます。

3 「本当にリカバリーを実行してもよろしいですか？（yes/no)」と表示されたら“yes”と入力し、Enter キーを押す

→リカバリーを開始します。リカバリーが完了するまでしばらくお待ちください。

※選択をやり直す場合は、“no”を入力してください。

4 完了のメッセージが表示されたら、リカバリー USB メモリーを取り外し、何かキーを押す

再起動後、システム領域にリビルドがおこなわれます。

※リビルド中は本製品の操作・動作が遅くなります。

ご注意

● Windows の初期化作業のため、起動するまでに何度か自動的に再起動します。

● [1 - RAID モードでリカバリー] を行った場合、Windows 起動後にデータボリュームの生成をおこないます。データボリュームの生成には、RAID のリビルド作業を伴います。

バックアップデータから復元する場合

1 バックアップデータが保存された USB HDD を本製品につなぐ

2 前面の USB ポートにリカバリー USB メモリーをセットし、本製品の電源を入れる

リカバリープログラムが起動します。

エラーでリカバリーできない場合、リカバリープログラムが起動しない場合

● BIOS 設定の変更が必要な場合があります。

以下の手順で BIOS 設定を変更してください。

①本製品の電源投入直後より、[Delete] キーを押しつづけて、BIOS 設定画面を起動する

②カーソルキーで [Boot] を選ぶ

③カーソルキーで [Boot Option #1] を選び、Enter キーを押す

④ [USB Device N: XXX] を選び、Enter キーを押す

（N はスロット番号、XXX は USB メモリーのメーカー名とモデル名）

⑤カーソルキーで［Save & Exit］→［Save Changes and Exit］→［YES］を選び、Enter キーを押す

以上で BIOS 設定は変更されました。上記の手順 1 より再度実行してください。

3 “R”と入力し、Enter キーを押す

※［R - Windows Recovery Environment を起動する］を選びます。

4 「キーボードレイアウトの選択」で、[Microsoft IME] をクリック

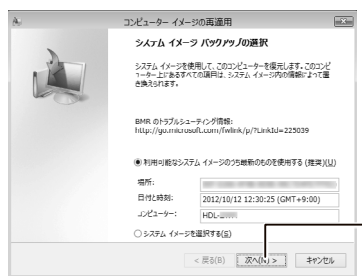
5 「オプションの選択」で、[トラブルシューティング] をクリック

※リカバリープログラムがドライブ C: に Windows システムを発見した場合、[続行] と表示されます。[続行] をクリックすると、リカバリープログラムを終了して、Windows を起動します。

6 「詳細オプション」で、[イメージでシステムを回復] をクリック

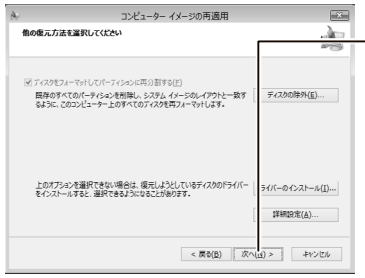
7 OS 選択が表示された場合は、[Windows 10] をクリック

8



[次へ] をクリック

9



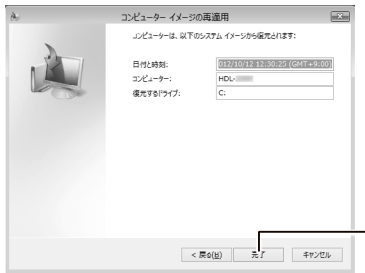
[次へ] をクリック

※バックアップ時と同じ個体に対してリカバリーをおこなう場合、チェックを外します。
※バックアップ時とは別の個体に対してリカバリーをおこなう場合、チェックを入れます。
※チェックができない場合は、ハードディスクに対して Diskpart の clean コマンドを実施してください。

Diskpart の clean コマンドの実施方法

① USB HDD などの機器を取り外す
※誤って対象以外のディスクを消去しないためです。
②リカバリーメディアからコマンドプロンプトを起動する
※［詳細オプション］（前ページ手順 5）で［コマンドプロンプト］を選択します。
③ diskpart　と入力し、[Enter] キーを押す
④ list disk　と入力し、[Enter] キーを押す
⑤すべてのカートリッジのディスク番号を確認
⑥ sel disk x(x は⑤で確認した番号 ）と入力し、[Enter] キーを押す
⑦ detail disk と入力し、[Enter] キーを押す（目的のディスクであることを確認）
⑧ clean と入力し、[Enter] キーを押す
⑨ ⑥～⑧を繰り返し、すべてのカートリッジで clean を実行する
⑩ exit と入力し、[Enter] キーを押す
⑪本製品をシャットダウンし、手順 2 ～ 10 をおこなう
※チェックはグレーアウトしていますが、そのまま [次へ] をクリックしてください。

10



[完了] をクリック

11



内容を確認し、
[はい] をクリック

ご注意

● [はい] をクリックすると、現在のディスク内容はすべて消去され、バックアップされていたイメージに置き換わります。

以上で復元処理は完了です。復元後は自動的に再起動しますので、リカバリー USB メモリーを抜いてお待ちください。

ソフトウェアのダウンロード方法

1 以下の Web ページにアクセスする
https://ioportal.iodata.jp/

ソフトウェアをダウンロードするため、ユーザー登録してください
ユーザー登録後、本製品のシリアル番号を登録することで、ソフトウェアをダウンロードできます。

2



IOPortal へログイン

はじめて登録する場合
[新規会員登録へ] をクリックし、
画面の指示にしたがってください。

3



[製品を登録する] をクリック

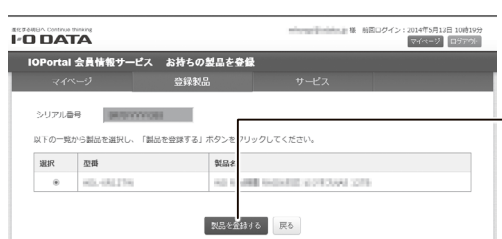
4



①本製品のシリアル番号を
入力

②［製品を登録する］を
クリック

5



内容を確認して、
[製品を登録する] をクリック

6



[登録製品の一覧へ戻る] をクリック

7



目的のソフトウェアの
[ダウンロード] をクリック

8



ここで画面で見るマニュアルが
ダウンロードできます。

お使いの OS をクリック

9



[ダウンロード] をクリック

これでソフトウェアのダウンロードは完了です。

出荷時設定

コンピューター名	APX-ESS
ワークグループ名	WORKGROUP
IP アドレス	自動取得
DNS サーバーアドレス	自動取得
RAID 状態	RAID1

ZWS Manager のログ、メール一覧

Windows のイベントビューアーにも記録されます
各種イベントログは、Windows の [サーバーマネージャー] を開き、[ツール] →[イベントビューアー] をクリックし、イベントビューアーの［Windows ログ］→［Application］内に「ソース名：ZWSRAID」で記録されます。

ログ・メール内容	メールタイトル	概要	対処
内蔵スロット x のディスクにエラーが検出されました。 システムを再起動しても再度エラーが検出される場合は、ディスクに致命的なエラーが発生している可能性があるため、至急交換してください。 (x は、1 ～ 2)	ディスクエラー	内蔵スロット x のディスクが「エラー」状態になった。 (x は、1 ～ 2)	至急システムボリュームおよびデータボリュームのバックアップを取ってください。 システムボリュームおよびデータボリュームに対してチェックディスクを実行してファイルシステムに問題がないことを確認してください。 システムを再起動可能な場合は、再起動を行ってエラーが消えるか確認してください。 内蔵スロット x のディスクを交換してください。 ZWS Manager からアンプラグできない場合は、システムの電源を切ってから交換してください。(x は、1 ～ 2)
システムボリューム上にエラーが検出されました。	ボリュームエラー	システムボリュームの状態が「失敗」となった。 システムボリュームの情報が「危険」となった。	至急システムボリュームのバックアップを取ってください。 システムボリュームに対してチェックディスクを実行してファイルシステムに問題がないことを確認してください。 構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。 システムが起動不能となった場合は、システムのリストアを行ってください。
データボリューム上にエラーが検出されました。	ボリュームエラー	データボリュームの状態が「失敗」となった。 データボリュームの情報が「危険」となった。	至急データボリュームのバックアップを取ってください。 データボリュームに対してチェックディスクを実行してファイルシステムに問題がないことを確認してください。 構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。 データボリュームにアクセスできなくなった場合は、データボリュームを再構築してください。
システムボリュームの冗長性が失われています。	ボリュームエラー	システムボリュームの状態が「冗長の失敗」となった。	至急システムボリュームのバックアップを取ってください。 構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。
データボリュームの冗長性が失われています。	ボリュームエラー	データボリュームの状態が「冗長の失敗」となった。	至急データボリュームのバックアップを取ってください。 構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。
システムボリュームの再構築が開始されました。	ボリューム情報	システムボリュームの状態が「再構築中」となった	システムボリュームの状況を確認してください。
データボリュームの再構築が開始されました。	ボリューム情報	データボリュームの状態が「再構築中」となった。	データボリュームの状況を確認してください。

ログ・メール内容	メールタイトル	概要	対処
システムボリュームの再構築が完了しました。	ボリューム情報	システムボリュームの状態が (「正常」以外の状態から) 「正常」となった。	システムボリュームの状況を確認してください。
データボリュームの再構築が完了しました。	ボリューム情報	データボリュームの状態が (「正常」以外の状態から) 「正常」となった。	データボリュームの状況を確認してください。
ZWS RAID Manager で管理できない状態です。	(メールなし)	内蔵ディスク上にボリュームが 3 個以上存在する。	内蔵ディスク上にシステムボリュームと、データボリュームが 1 個だけ存在する状態にしてください。
本体内部の温度が仕様範囲を超えたため本体をシャットダウンしました。	温度異常	システム温度が仕様範囲を超えた。	設置環境を確認し、FAN からの排熱が逃げ易い環境であることを確認して下さい。温度異常を検知したら自動的に電源が切れますので、再起動後に再び同じ現象が起きたら FAN が正常に稼動していることを確認してください。
ファンの回転数が仕様範囲を下回ったため本体をシャットダウンしました。	ファン回転異常	NAS 本体に付属の FAN の回転数が仕様範囲を下回った。	FAN が正常に稼動していることを確認し、異常があれば修理してください。
Func ボタンが押され登録されているコマンド xxx が実行されました。(xxx は登録したコマンド)	(メールなし)	Func. ボタンが有効で、Func. ボタンが押された。	Func ボタン機能が有効の場合は、Func . ボタンを 3 秒以上押すと登録したコマンドが実行されますので、登録されたコマンドが実行されたことを確認してください。

アクティブリペア関連のログ、メール一覧

表示内容	説明	イベントログ	メール	NarSuS
手動操作によるアクティブリペアを開始しました。	「今すぐ実行」ボタンによりよるアクティブリペアを開始された。	あり	あり	あり
スケジュール実行によるアクティブリペアを開始しました。	スケジュール実行によるアクティブリペアを開始された。	あり	あり	あり
システムボリュームのアクティブリペアを開始しました。	システムボリュームのアクティブリペアを開始した。	あり	あり	あり
データボリュームのアクティブリペアを開始しました。	データボリュームのアクティブリペアを開始した。	あり	あり	あり
システムボリュームのアクティブリペアが完了しました。	システムボリュームのアクティブリペアが完了した。	あり	あり	あり
データボリュームのアクティブリペアが完了しました。	データボリュームのアクティブリペアが完了した。	あり	あり	あり
アクティブリペアが中断されました。	「停止」ボタン、NAS 再起動などによりアクティブリペアが中断された。	あり	あり	なし
アクティブリペア実行中にシステムボリュームで修復不可能なセクタが検出されました。 アクティブリペアを終了します。	アクティブリペア実行中にシステムボリュームの見つかった不良セクタの修復を試みた修復できなかった。	あり	あり	あり
アクティブリペア実行中にデータボリュームで修復不可能なセクタが検出されました。 アクティブリペアを終了します。	アクティブリペア実行中にデータボリュームの見つかった不良セクタの修復を試みた修復できなかった。	あり	あり	あり
システムボリュームのアクティブリペアに失敗しました。	システムボリュームのアクティブリペア実行中に問題が発生したのでエラー終了した。	あり	あり	あり
データボリュームのアクティブリペアに失敗しました。	データボリュームのアクティブリペア実行中に問題が発生したのでエラー終了した。	あり	あり	あり

アフターサービス

RICOH e-Sharing サービスのお問い合わせ

下記 Web ページからお問い合わせお願いします。

● RICOH e-Sharing サービス

https://www.ricoh.co.jp/service/e-sharing-service

重要

- 本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。
- 個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー（https://www.iodata.jp/privacy.htm）に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

故障時のお問い合わせ

お問い合わせ方法

よくあるご質問、マニュアル、最新ソフトウェア

https://www.iodata.jp/lib/

電話でのお問い合わせ

050-3000-6569

受付 9：00～17：00 月～金曜日（祝祭日・年末年始・夏期休業期間をのぞく）

※お問い合わせいただく際は、商品の型番、シリアル番号（S/N）をご用意ください。

メールでのお問い合わせ

https://contact.iodata.jp/sp/inquiry/landisk/corporate

修理について

修理の流れ

保証期間 **5** 年間

①	②	③	④	⑤	⑥
修理申込（申込番号発行）	修理センターに送付	検査	有償時のみ見積連絡	修理	修理品返送

①Webで修理申込

【重要】修理申込をおこなうと、申込番号が発行されます。

https://www.iodata.jp/support/after/repair/

※Webページから修理申込がおこなえない場合は、申込番号の代わりに［名前・住所・TEL（FAX）・E-Mail・症状］を書いたメモを商品に同梱してお送りください。

②修理センターに送付

- □ 商品一式
- □ 申込番号を書いたメモ（Web申込時に発行された番号）
- □ レシートや納品書など、購入日を示すもの

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
（株）アイ・オー・データ機器 修理センター宛
TEL 076-260-3617

※紛失をさけるため宅配便でお送りください。
※送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。
※厳重に梱包してください。弊社到着までに破損すると有料修理となる場合があります。
※液晶ディスプレイ製品の場合、パネル部分を持つとパネル内部が破損します。取扱いには、充分注意してください。
※修理の進捗状況は上記Webページでご確認いただけます。（申込番号で検索）

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容
取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、ハードウェア保証書をご提示いただく事によりそこに記載された期間内においては、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象
保証の対象となるのは弊社が提供する最新のファームウェア、またはソフトウェアを適用した本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外
以下の場合は保証の対象とはなりません。
1）保証書に記載されたご購入日から保証期間が経過した場合
2）修理ご依頼の際、ハードウェア保証書のご提示がいただけない場合
3）ハードウェア保証書の所定事項（型番、お名前、ご住所、ご購入日等〔但し、ご購入日欄については、保証期間が無期限の製品は除きます。〕）が未記入の場合または字句が書き換えられた場合
4）中古品でご購入された場合
5）発火、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
6）お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
7）接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
8）取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
9）合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
10）弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
11）弊社が寿命に達したと判断した場合
12）保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
13）その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理
1）修理を弊社へご依頼される場合は、本製品とご購入日等の必要事項が記載されたハードウェア保証書を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
2）発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
3）本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
4）弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責
1）本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
2）弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
3）本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲
弊社は、日本国内のみにおいてハードウェア保証書または本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。
Our company provides the service under this warranty only in Japan.

MICROSOFT SOFTWARE LICENSE TERMS (SAMPLE TEMPLATE)

WINDOWS IOT ENTERPRISE & MOBILE (ALL EDITIONS)

IF YOU LIVE IN (OR IF YOUR PRINCIPAL PLACE OF BUSINESS IS IN) THE UNITED STATES, PLEASE READ THE BINDING ARBITRATION CLAUSE AND CLASS ACTION WAIVER IN SECTION 8. IT AFFECTS HOW DISPUTES ARE RESOLVED.

Thank you for choosing Microsoft!

Depending on how you obtained the Windows software, this is a license agreement between (i) you and the device manufacturer or software installer that distributes the software with your device; or (ii) you and Microsoft Corporation (or, based on where you live or, if a business, where your principal place of business is located, one of its affiliates) if you acquired the software from a retailer. Microsoft is the device manufacturer for devices produced by Microsoft or one of its affiliates, and Microsoft is the retailer if you acquired the software directly from Microsoft.

This agreement describes your rights, obligations, and the conditions upon which you may use the Windows software. You should review the entire agreement, including any supplemental license terms that accompany the software and any linked terms, because all of the terms are important and together create this agreement that applies to you. You can review linked terms by pasting the (aka.ms/) link into a browser window.

By accepting this agreement or using the software, you agree to all of these terms, and consent to the transmission of certain information during activation and during your use of the software as per the privacy statement described in Section 3. If you do not accept and comply with these terms, you may not use the software or its features. You may contact the device manufacturer or installer, or your retailer if you purchased the software directly, to determine its return policy and return the software or device for a refund or credit under that policy. You must comply with that policy, which might require you to return the software with the entire device on which the software is installed for a refund or credit, if any.

1. Overview.

a. Applicability. This agreement applies to the Windows software that is preinstalled on your device, or acquired from a retailer and installed by you, the media on which you received the software (if any), any fonts, icons, images or sound files included with the software, and also any Microsoft updates, upgrades, supplements or services for the software, unless other terms come with them. It also applies to Windows apps developed by Microsoft that provide functionality such as mail, calendar, contacts, music and news that are included with and are a part of Windows. If this agreement contains terms regarding a feature or service not available on your device, those terms do not apply.

b. Additional terms. Depending on your device' s capabilities, how it is configured, and how you use it, additional Microsoft and third-party terms may apply to your use of certain features, services and apps.
(i)Some Windows apps provide an access point to, or rely on, online services, and the use of those services is sometimes governed by separate terms and privacy policies, such as the Microsoft Services Agreement at https://aka.ms/msa. You can view these terms and policies by looking at the service terms of use or the app' s settings, as applicable; please read them. The services may not be available in all regions.
(ii) The manufacturer or installer may also preinstall apps, which will be subject to separate license terms.
(iii) The software may include third-party programs that are licensed to you under this agreement, or under their own terms. License terms, notices and acknowledgements, if any, for the third-party program can be viewed at https://aka.ms/thirdpartynotices.

2. Installation and Use Rights.

a. License. The software license is permanently assigned to the device with which you acquired the software. You many only use the software on that device.

b. Device. In this agreement, "device" means a physical hardware system with an internal storage device capable of running the software. A hardware partition or blade is considered to be a device.

c. Restrictions. The manufacturer or installer and Microsoft reserve all rights (such as rights under intellectual property laws) not expressly granted in this agreement, and no other rights are licensed to you. For the avoidance of doubt, this license does not give you any right to, and you may not (and you may not permit any other person or entity to):
(i)use or virtualize features of the software separately;
(ii) publish, copy (other than the permitted backup copy), rent, lease, or lend the software;
(iii) transfer the software;
(iv) work around any technical restrictions or limitations in the software;
(v) use the software as server software or to operate the device as a server, except as permitted under Section 2(d)(iii) below; use the software to offer commercial hosting services; make the software available for simultaneous use by more than one user over a network, except as permitted under Section 2(d)(v) below; install the software on a server for remote access or use over a network; or install the software on a device for use only by remote users;
(vi) reverse engineer, decompile, or disassemble the software, or attempt to do so, except and only to the extent that the foregoing restriction is (a) permitted by applicable law; (b) permitted by licensing terms governing the use of open-source components that may be included with the software; or (c) required to debug changes to any libraries licensed under the GNU Lesser General Public License that are included with and linked to by the software; and
(vii) when using Internet-based features you may not use those features in any way that could interfere with anyone else' s use of them, or to try to gain access to or use any service, data, account, or network, in an unauthorized manner.

d. Multi-Use scenarios.
(i)Multiple versions. If when acquiring the software, you were provided with multiple versions (such as 32-bit and 64-bit versions), you may install and activate only one of those versions at a time.
(ii) Multiple or pooled connections. Hardware or software you use to multiplex or pool connections, or reduce the number of devices or users that access or use the software, does not reduce the number of licenses you need. You may only use such hardware or software if you have a license for each instance of the software you are using.
(iii) Device connections. You may allow up to 20 other devices to access the software installed on the licensed device solely to use the following software features for personal or internal purposes: file services, print services, Internet information services, and Internet connection sharing and telephony services on the licensed device. The 20 connection limit applies to devices that access the software indirectly through "multiplexing" or other software or hardware that pools connections. You may allow any number of devices to access the software on the licensed device to synchronize data between devices. This subsection does not mean, however, that you have the right to install the software, or use the primary function of the software (other than the features listed in this subsection), on any of these other devices.
(iv) Remote access. Users may access the licensed device from another device using remote access technologies, but only on devices separately licensed to run the same or higher edition of this software.
(v) Remote assistance. You may use remote assistance technologies to share an active session without obtaining any additional licenses for the software. Remote assistance allows one user to connect directly to another user' s computer, usually to correct problems.
(vi) POS application. If the software is installed on a retail point of service device, you may use the software with a point of service application ("POS Application"). A POS Application is a software application which provides only the following functions: (i) process sales and service transactions, scan and track inventory, record and/or transmit customer information, and perform related management functions, and/or (ii) provide information directly and indirectly to customers about available products and services. You may use other programs with the software as long as the other programs: (i) directly support the manufacturer' s specific use for the device, or (ii) provide system utilities, resource management, or anti-virus or similar protection. For clarification purposes, an automated teller machine ("ATM") is not a retail point of service device.

(vii) Cloud Computing Devices. If your device uses Internet browsing functionality to connect to and access cloud hosted applications: (i) no desktop functions may run locally on the device, and (ii) any files that result from the use of the desktop functions may not be permanently stored on the system. "Desktop functions," as used in this agreement, means a consumer or business task or process performed by a computer or computing device. This includes but is not limited to email, word processing, spreadsheets, database, scheduling, network or internet browsing and personal finance.

(viii) Desktop Functions. If your system performs desktop functions, then you must ensure that they: (i) are only used to support the application, and (ii) operate only when used with the application.

e. Windows IoT Enterprise Features for Development and Testing Only.

(1) Device Health Attestation. You may only implement Device Health Attestation in a commercial use if you execute a Microsoft Windows IoT Core Services Agreement at: https://azure.microsoft.com/en-us/services/windows-10-iot-core/.

f. Specific Use. The manufacturer designed the licensed device for a specific use. You may only use the software for that use.

3. Privacy; Consent to Use of Data. Your privacy is important to us. Some of the software features send or receive information when using those features. Many of these features can be switched off in the user interface, or you can choose not to use them. By accepting this agreement and using the software you agree that Microsoft may collect, use, and disclose the information as described in the Microsoft Privacy Statement available at https://aka.ms/privacy, and as may be described in the user interface associated with the software features.

4. Authorized Software and Activation. You are authorized to use this software only if you are properly licensed and the software has been properly activated with a genuine product key or by other authorized method. When you connect to the Internet while using the software, the software will automatically contact Microsoft or its affiliate to confirm the software is genuine and the license is associated with the licensed device. You can also activate the software manually by Internet or telephone. In either case, transmission of certain information will occur, and Internet, telephone and SMS service charges may apply. During activation (or reactivation that may be triggered by changes to your device's components), the software may determine that the installed instance of the software is counterfeit, improperly licensed or includes unauthorized changes. If activation fails the software will attempt to repair itself by replacing any tampered Microsoft software with genuine Microsoft software. You may also receive reminders to obtain a proper license for the software. Successful activation does not confirm that the software is genuine or properly licensed. You may not bypass or circumvent activation. To help determine if your software is genuine and whether you are properly licensed, see https://aka.ms/genuine. Certain updates, support, and other services might be offered only to users of genuine Microsoft software.

5. Updates. You may obtain updates only from Microsoft or authorized sources, and Microsoft may need to update your system to provide you with those updates. The software periodically checks for system and app updates, and may download and install them for you. To the extent automatic updates are enabled on your device, by accepting this agreement, or using the software, you agree to receive these types of automatic updates without any additional notice.

6. Geographic and Export Restrictions. If your software is restricted for use in a particular geographic region, then you may activate the software only in that region. You must also comply with all domestic and international export laws and regulations that apply to the software, which include restrictions on destinations, end users, and end use. For further information on geographic and export restrictions, visit https://aka.ms/exporting.

7. Support and Refund Procedures. For the software generally, contact the device manufacturer or installer for support options. Refer to the support number provided with the software. For updates and supplements obtained directly from Microsoft, Microsoft may provide limited support services for properly licensed software as described at https://aka.ms/mssupport. If you are seeking a refund, contact the manufacturer or installer to determine its refund policies. You must comply with those policies, which might require you to return the software with the entire device on which the software is installed for a refund.

8. Binding Arbitration and Class Action Waiver if You Live in (or, if a Business, Your Principal Place of Business is in) the United States.

We hope we never have a dispute, but if we do, you and we agree to try for 60 days to resolve it informally. If we can't, you and we agree to binding individual arbitration before the American Arbitration Association ("AAA") under the Federal Arbitration Act ("FAA"), and not to sue in court in front of a judge or jury. Instead, a neutral arbitrator will decide and the arbitrator's decision will be final except for a limited right of appeal under the FAA. Class action lawsuits, class-wide arbitrations, private attorney-general actions, and any other proceeding where someone acts in a representative capacity aren't allowed. Nor is combining individual proceedings without the consent of all parties. "We," "our," and "us" includes Microsoft, the device manufacturer, and software installer.

a. Disputes covered—everything except IP. The term "dispute" is as broad as it can be. It includes any claim or controversy between you and the manufacturer or installer, or you and Microsoft, concerning the software, its price, or this agreement, under any legal theory including contract, warranty, tort, statute, or regulation, except disputes relating to the enforcement or validity of your, your licensors', our, or our licensors' intellectual property rights.

b. Mail a Notice of Dispute first. If you have a dispute and our customer service representatives can't resolve it, send a Notice of Dispute by U.S. Mail to the manufacturer or installer, ATTN: LEGAL DEPARTMENT. If your dispute is with Microsoft, mail it to Microsoft Corporation, ATTN: CELA ARBITRATION, One Microsoft Way, Redmond, WA 98052-6399. Tell us your name, address, how to contact you, what the problem is, and what you want. A form is available at https://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=245499. We'll do the same if we have a dispute with you. After 60 days, you or we may start an arbitration if the dispute is unresolved.

c. Small claims court option. Instead of mailing a Notice of Dispute, and if you meet the court's requirements, you may sue us in small claims court in your county of residence (or if a business your principal place of business) or our principal place of business–King County, Washington USA if your dispute is with Microsoft. We hope you'll mail a Notice of Dispute and give us 60 days to try to work it out, but you don't have to before going to small claims court.

d. Arbitration procedure. The AAA will conduct any arbitration under its Commercial Arbitration Rules (or if you are an individual and use the software for personal or household use, or if the value of the dispute is $75,000 USD or less whether or not you are an individual or how you use the software, its Consumer Arbitration Rules). For more information, see https://aka.ms/adr or call 1-800-778-7879. To start an arbitration, submit the form available at https://aka.ms/arbitration to the AAA; mail a copy to the manufacturer or installer (or to Microsoft if your dispute is with Microsoft). In a dispute involving $25,000 USD or less, any hearing will be telephonic unless the arbitrator finds good cause to hold an in-person hearing instead. Any in-person hearing will take place in your county of residence (or if a business, your principal place of business) or our principal place of business—King County, Washington if your dispute is with Microsoft. You choose. The arbitrator may award the same damages to you individually as a court could. The arbitrator may award declaratory or injunctive relief only to you individually to satisfy your individual claim.

e. Arbitration fees and payments.

(i) Disputes involving $75,000 USD or less. The manufacturer or installer (or Microsoft if your dispute is with Microsoft) will promptly reimburse your filing fees and pay the AAA's and arbitrator's fees and expenses. If you reject our last written settlement offer made before the arbitrator was appointed, your dispute goes all the way to an arbitrator's decision (called an "award"), and the arbitrator awards you more than this last written offer, the manufacturer or installer (or Microsoft if your dispute is with Microsoft) will: (1) pay the greater of the award or $1,000 USD; (2) pay your reasonable attorney's fees, if any; and (3) reimburse any expenses (including expert witness fees and costs) that your attorney reasonably accrues for investigating, preparing, and pursuing your claim in arbitration. The arbitrator will determine the amounts unless you and we agree on them.

(ii) Disputes involving more than $75,000 USD. The AAA rules will govern payment of filing fees and the AAA's and arbitrator's fees and expenses.

(iii) Disputes involving any amount. If you start an arbitration, we won't seek our AAA or arbitrator's fees and expenses, or your filing fees we reimbursed, unless the arbitrator finds the arbitration frivolous or brought for an improper purpose. If we start an arbitration we will pay all filing, AAA, and arbitrator's fees and expenses. We won't seek our attorney's fees or expenses from you in any arbitration. Fees and expenses are not counted in determining how much a dispute involves.

f. Must file within one year. You and we must file in small claims court or arbitration any claim or dispute (except intellectual property disputes — see Section 8.a.) within one year from when it first could be filed. Otherwise, it's permanently barred.

g. Severability. If the class action waiver is found to be illegal or unenforceable as to all or some parts of a dispute, those parts won't be arbitrated but will proceed in court, with the rest proceeding in arbitration. If any other provision of Section 8 is found to be illegal or unenforceable, that provision will be severed but the rest of Section 8 still applies.

h. Conflict with AAA rules. This agreement governs if it conflicts with the AAA's Commercial Arbitration Rules or Consumer Arbitration Rules.

i. Microsoft as party or third-party beneficiary. If Microsoft is the device manufacturer or if you acquired the software from a retailer, Microsoft is a party to this agreement. Otherwise, Microsoft is not a party but is a third-party beneficiary of your agreement with the manufacturer or installer to resolve disputes through informal negotiation and arbitration.

9. Governing Law. The laws of the state or country where you live (or, if a business, where your principal place of business is located) govern all claims and disputes concerning the software, its price, or this agreement, including breach of contract claims and claims under state consumer protection laws, unfair competition laws, implied warranty laws, for unjust enrichment, and in tort, regardless of conflict of law principles. In the United States, the FAA governs all provisions relating to arbitration.

10. Consumer Rights, Regional Variations. This agreement describes certain legal rights. You may have other rights, including consumer rights, under the laws of your state or country. You may also have rights with respect to the party from which you acquired the software. This agreement does not change those other rights if the laws of your state or country do not permit it to do so. For example, if you acquired the software in one of the below regions, or mandatory country law applies, then the following provisions apply to you:

a. Australia. References to "Limited Warranty" are references to the express warranty provided by Microsoft or the manufacturer or installer. This warranty is given in addition to other rights and remedies you may have under law, including your rights and remedies in accordance with the statutory guarantees under the Australian Consumer Law.

In this subsection, "goods" refers to the software for which Microsoft or the manufacturer or installer provides the express warranty. Our goods come with guarantees that cannot be excluded under the Australian Consumer Law. You are entitled to a replacement or refund for a major failure and compensation for any other reasonably foreseeable loss or damage. You are also entitled to have the goods repaired or replaced if the goods fail to be of acceptable quality and the failure does not amount to a major failure.

b. Canada. You may stop receiving updates on your device by turning off Internet access. If and when you re-connect to the Internet, the software will resume checking for and installing updates.

c. Germany and Austria.

(i) Warranty. The properly licensed software will perform substantially as described in any Microsoft materials that accompany the software. However, the manufacturer or installer, and Microsoft, give no contractual guarantee in relation to the licensed software.

(ii) Limitation of Liability. In case of intentional conduct, gross negligence, claims based on the Product Liability Act, as well as, in case of death or personal or physical injury, the manufacturer or installer, or Microsoft is liable according to the statutory law.

Subject to the preceding sentence, the manufacturer or installer, or Microsoft will only be liable for slight negligence if the manufacturer or installer or Microsoft is in breach of such material contractual obligations, the fulfillment of which facilitate the due performance of this agreement, the breach of which would endanger the purpose of this agreement and the compliance with which a party may constantly trust in (so-called "cardinal obligations"). In other cases of slight negligence, the manufacturer or installer or Microsoft will not be liable for slight negligence.

d. Other regions. See https://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=534978 for a current list of regional variations

11. Additional Notices.

a. Networks, data and Internet usage. Some features of the software and services accessed through the software may require your device to access the Internet. Your access and usage (including charges) may be subject to the terms of your cellular or internet provider agreement. Certain features of the software may help you access the Internet more efficiently, but the software's usage calculations may be different from your service provider's measurements. You are always responsible for (i) understanding and complying with the terms of your own plans and agreements, and (ii) any issues arising from using or accessing networks, including public/open networks. You may use the software to connect to networks, and to share access information about those networks, only if you have permission to do so.

b. H.264/AVC and MPEG-4 visual standards and VC-1 video standards. The software may include H.264/MPEG-4 AVC and/or VC-1 decoding technology. MPEG LA, L.L.C. requires this notice:

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC, THE VC-1, AND THE MPEG-4 PART 2 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSES FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE ABOVE STANDARDS ("VIDEO STANDARDS") AND/OR (ii) DECODE AVC, VC-1, AND MPEG-4 PART 2 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE SUCH VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE WWW.MPEGLA.COM

c. Malware protection. Microsoft cares about protecting your device from malware. The software will turn on malware protection if other protection is not installed or has expired. To do so, other antimalware software will be disabled or may have to be removed.

12. Entire Agreement. This agreement (together with the printed paper license terms or other terms accompanying any software supplements, updates, and services that are provided by the manufacturer or installer, or Microsoft, and that you use), and the terms contained in web links listed in this agreement, are the entire agreement for the software and any such supplements, updates, and services (unless the manufacturer or installer, or Microsoft, provides other terms with such supplements, updates, or services). You can review this agreement after your software is running by going to https://aka.ms/useterms or going to Settings - System - About within the software. You can also review the terms at any of the links in this agreement by typing the URLs into a browser address bar, and you agree to do so. You agree that you will read the terms before using the software or services, including any linked terms. You understand that by using the software and services, you ratify this agreement and the linked terms. There are also informational links in this agreement. The links containing notices and binding terms are:

- Windows Privacy Statement https://aka.ms/privacy
- Microsoft Services Agreement https://aka.ms/msa

****

NO WARRANTY

THE SOFTWARE ON YOUR DEVICE (INCLUDING THE APPS) IS LICENSED "AS IS." TO THE MAXIMUM EXTENT PERMITTED BY YOUR LOCAL LAWS, YOU BEAR THE ENTIRE RISK AS TO THE SOFTWARE' S QUALITY AND PERFORMANCE. SHOULD IT PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE ENTIRE COST OF ALL SERVICING OR REPAIR. NEITHER THE DEVICE MANUFACTURER NOR MICROSOFT GIVES ANY EXPRESS WARRANTIES, GUARANTEES, OR CONDITIONS FOR THE SOFTWARE. TO THE EXTENT PERMITTED UNDER YOUR LOCAL LAWS, THE MANUFACTURER AND MICROSOFT EXCLUDE ALL IMPLIED WARRANTIES AND CONDITIONS, INCLUDING THOSE OF MERCHANTABILITY, QUALITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, AND NON-INFRINGEMENT. YOU MAY HAVE ADDITIONAL CONSUMER RIGHTS OR STATUTORY GUARANTEES UNDER LOCAL LAWS THAT THESE TERMS CANNOT CHANGE.

IF YOUR LOCAL LAWS IMPOSE A WARRANTY, GUARANTEE, OR CONDITION EVEN THOUGH THIS AGREEMENT DOES NOT, ITS TERM IS LIMITED TO 90 DAYS FROM WHEN THE FIRST USER ACQUIRES THE SOFTWARE. IF THE MANUFACTURER OR MICROSOFT BREACHES SUCH A WARRANTY, GUARANTEE, OR CONDITION, YOUR SOLE REMEDY, AT THE MANUFACTURER'S OR MICROSOFT'S ELECTION, IS (I) REPAIR OR REPLACEMENT OF THE SOFTWARE AT NO CHARGE, OR (II) RETURN OF THE SOFTWARE (OR AT ITS ELECTION THE DEVICE

ON WHICH THE SOFTWARE WAS INSTALLED) FOR A REFUND OF THE AMOUNT PAID, IF ANY. THESE ARE YOUR ONLY REMEDIES FOR BREACH OF A WARRANTY, GUARANTEE, OR CONDITION YOUR LOCAL LAWS IMPOSE.

TO THE EXTENT NOT PROHIBITED BY YOUR LOCAL LAWS, IF YOU HAVE ANY BASIS FOR RECOVERING DAMAGES, YOU CAN RECOVER FROM THE MANUFACTURER OR MICROSOFT ONLY DIRECT DAMAGES UP TO THE AMOUNT YOU PAID FOR THE SOFTWARE (OR UP TO $50 USD IF YOU ACQUIRED THE SOFTWARE FOR NO CHARGE). YOU WILL NOT, AND WAIVE ANY RIGHT TO, SEEK TO RECOVER ANY OTHER DAMAGES OR REMEDY, INCLUDING LOST PROFITS AND DIRECT, CONSEQUENTIAL, SPECIAL, INDIRECT, OR INCIDENTAL DAMAGES, UNDER ANY PART OF THIS AGREEMENT OR UNDER ANY THEORY. THIS LIMITATION APPLIES TO (I) ANYTHING RELATED TO THIS AGREEMENT, THE SOFTWARE (INCLUDING THE APPS), THE DEVICE, SERVICES, CORRUPTION OR LOSS OF DATA, FAILURE TO TRANSMIT OR RECEIVE DATA, CONTENT (INCLUDING CODE) ON THIRD PARTY INTERNET SITES OR THIRD PARTY PROGRAMS, AND (II) CLAIMS FOR BREACH OF CONTRACT, WARRANTY, GUARANTEE, OR CONDITION; STRICT LIABILITY, NEGLIGENCE, OR OTHER TORT; VIOLATION OF A STATUTE OR REGULATION; UNJUST ENRICHMENT; OR UNDER ANY OTHER THEORY.

THE DAMAGE EXCLUSIONS AND REMEDY LIMITATIONS IN THIS AGREEMENT APPLY EVEN IF YOU HAVE NO REMEDY (THE SOFTWARE IS LICENSED "AS IS"), IF REPAIR, REPLACEMENT, OR A REFUND (IF REQUIRED BY YOUR LOCAL LAW) DOES NOT FULLY COMPENSATE YOU FOR ANY LOSSES, IF THE MANUFACTURER OR MICROSOFT KNEW OR SHOULD HAVE KNOWN ABOUT THE POSSIBILITY OF THE DAMAGES, OR IF THE REMEDY FAILS OF ITS ESSENTIAL PURPOSE.

Check with your device manufacturer to determine if your device is covered by a warranty.

MEMO

MEMO

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
　したがって、別段の定めの無い限り、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、発火事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、発火延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
　また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

● RICOH e-Sharing Service は、株式会社リコーの登録商標です。
● Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
● 記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

発 行　株式会社アイ・オー・データ機器

商品アンケートにご協力願います

型　番	APX2-ESS/RO5A
保証期間	ご購入日より **5** 年間有効です

☆お客様	ふりがな お名前　　様 TEL.（　　）　　－ 〒□□□-□□□□ ご住所

「ハードウェア保証規定」をご確認の上、☆印の箇所に楷書で明確にご記入ください。
記入漏れがありますと、保証期間内でも無料修理が受けられませんのでご注意ください。 販売店欄は販売店でご記入いただくものです。 記入がない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。
また、本保証書は再発行いたしませんので紛失しない様大切に保管してください。

販売店	ご購入日 住所・店名　　印 TEL.（　　）　　－

ご販売店様へ

1.お客様へ商品をお渡しする際は必ず販売日をご購入日欄に記入し貴店名／住所、貴店印をご記入ご捺印ください。
2.記載漏れがありますと、保証期間内でも無償修理が受けられません。

取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、ハードウェア保証規定に従った保証を行いますので、商品と本保証書をご持参ご提示の上お買い求めの販売店または、弊社（修理センター宛）にご依頼ください。

I-O DATA
株式会社 アイ・オー・データ機器

【技術動向、導入事例などについて】

次のサイトに、弊社製ネットワークハードディスク（NAS）「LAN DISK シリーズ」に関するホワイトペーパーを掲載しています。必要に応じてご確認ください。
https://www.iodata.jp/biz/whitepaper/

進化する明日へ Continue thinking
株式会社 アイ・オー・データ機器
https://www.iodata.jp/